

企業経営者意識調査

令和3年1-3月の概要

P 1

調査結果

- | | | |
|---|---------------|------|
| 1 | 経営状況 | P 4 |
| 2 | 雇用状況 | P 8 |
| 3 | 在庫、価格水準 | P 12 |
| 4 | 設備投資の状況 | P 14 |
| 5 | 地域別にみる各産業の動向 | P 16 |
| 6 | 道内の景況感 | P 24 |
| 7 | 業種・地域別企業経営者の声 | P 25 |
| 8 | 業況感の長期推移 | P 32 |
- 

特別調査

- | | | |
|---|--------------------------|------|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について | P 33 |
| 2 | 電気料金について | P 44 |

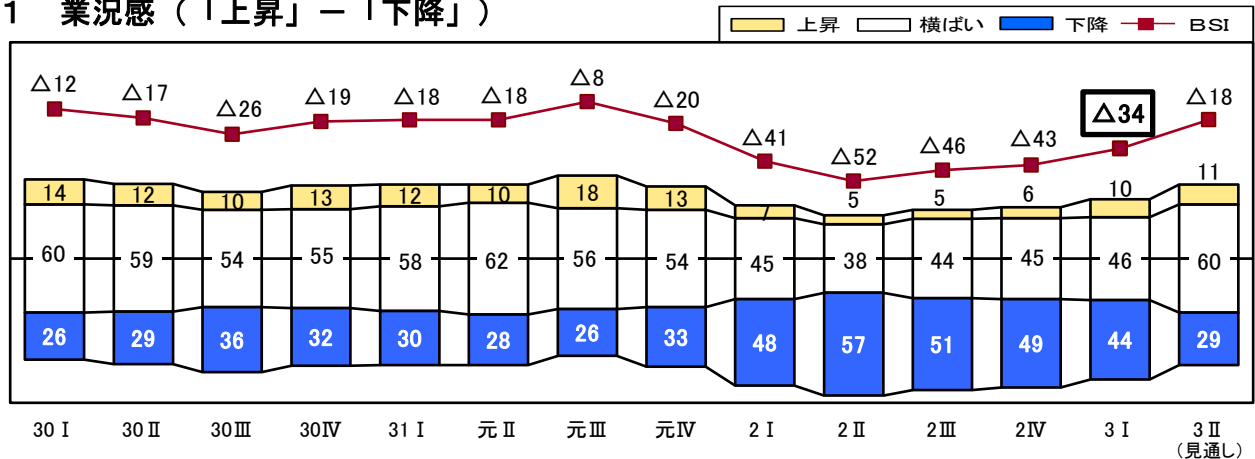
調査方法

P 45

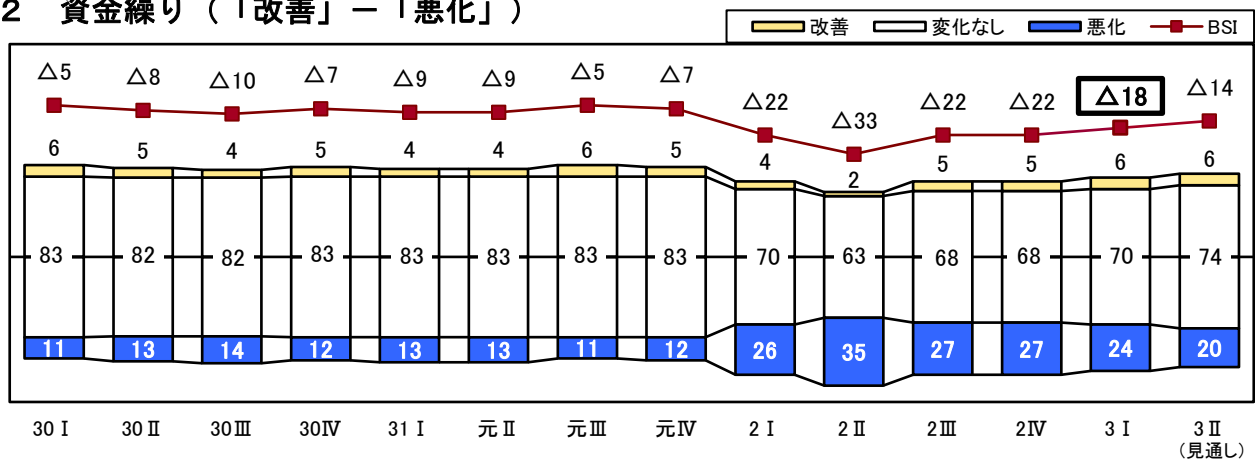
1 令和3年1-3月の概要

- 調査対象企業数 900 社、回答社数 616 社、回答率 68.4%
- 業況感は、前期から 9 ポイント上昇し、 $\Delta 34$ ポイント。(3 期連続で上昇)
 - ・ 業種別では、目立った下降業種はなく、特に卸売・小売業で大幅に上昇。
 - ・ 地域別では、全ての地域で上昇。道南、道央、十勝は 10 ポイント以上上昇。
 - ・ 来期(4-6 月)見通しは、今期から 16 ポイント上昇し、 $\Delta 18$ ポイント。
- 資金繰りは、前期から 4 ポイント上昇し、 $\Delta 18$ ポイント。
- 雇用者総数は、前期から 2 ポイント上昇し、 $\Delta 10$ ポイント。

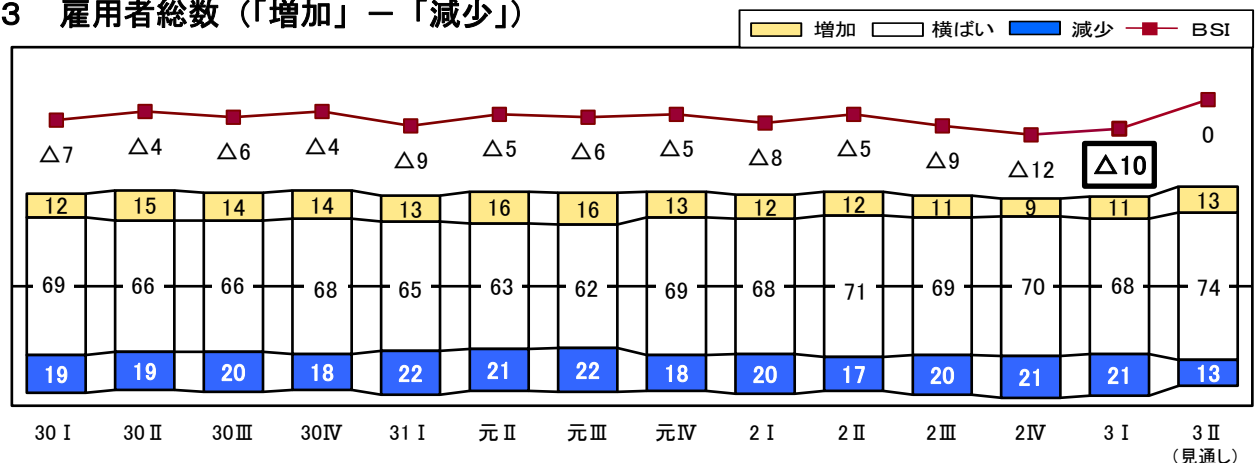
1 業況感(「上昇」－「下降」)



2 資金繰り(「改善」－「悪化」)



3 雇用者総数(「増加」－「減少」)



4 業種・地域別の業況

ア 実績と見通し

区 分		R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計		△ 43	10	46	44	△ 34	9	11	60	29	△ 18	16
業 種	建設業	△ 16	10	69	21	△ 11	5	4	70	26	△ 22	△ 11
	製造業	△ 39	14	39	47	△ 33	6	15	56	29	△ 14	19
	卸売・小売業	△ 41	20	43	37	△ 17	24	13	59	28	△ 15	2
	運輸業	△ 51	2	44	54	△ 52	△ 1	11	61	28	△ 17	35
	サービス業	△ 54	6	41	53	△ 47	7	11	58	31	△ 20	27
資 本 金	5千万円未満	△ 46	9	43	48	△ 39	7	9	58	33	△ 24	15
	5千万以上～1億円未満	△ 31	13	49	38	△ 25	6	13	68	19	△ 6	19
	1億円以上	△ 42	13	54	33	△ 20	22	20	62	18	2	22
地 域	道南	△ 42	5	58	37	△ 32	10	9	68	23	△ 14	18
	道央	△ 44	12	43	45	△ 33	11	13	60	27	△ 14	19
	道北	△ 40	10	47	43	△ 33	7	9	57	34	△ 25	8
	オホーツク	△ 38	10	44	46	△ 36	2	11	51	38	△ 27	9
	十勝	△ 44	12	46	42	△ 30	14	15	56	29	△ 14	16
	釧路・根室	△ 42	10	39	51	△ 41	1	5	66	29	△ 24	17

イ 主な上昇・下降業種（中分類）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 (▲16→▲11)	総合工事業 (▲13→▲11) 設備工事業 (▲30→▲12)	
製造業 (▲39→▲33)	食料品製造 (▲45→▲29) 木材・木製品製造業 (▲67→▲28) 化学工業 (▲33→0) 窯業・土石製品製造業 (▲40→▲17)	金属製品製造業 (▲67→▲90) 生産用機械器具製造 (▲56→▲78)
卸売・小売業 (▲41→▲17)	繊維・衣服等卸売業 (▲100→▲60) 飲食料品卸売業 (▲41→▲11) 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (▲42→▲18) 機械器具卸売業 (▲25→29) その他の卸売業 (▲25→0) 飲食料品小売業 (▲57→▲53) 機械器具小売業 (▲10→4) その他の小売業 (▲50→▲47)	
運輸業 (▲51→▲52)	道路旅客運送業 (▲100→▲90) 倉庫業 (▲20→▲14)	道路貨物運送業 (▲35→▲41)

大分類	上昇業種	下降業種
サービス業 (▲54→▲47)	物品賃貸業 (▲60→▲27) 技術サービス業 (▲29→▲25) 洗濯・理容・美容・浴場業 (▲92→▲79) その他の生活関連サービス業 (▲83→▲80) 自動車整備業 (▲39→▲12) 機械等修理業 (▲50→0) 職業紹介・労働者派遣業 (▲83→▲43) その他の事業サービス業 (▲40→▲20)	情報サービス業 (▲30→▲35) 飲食店 (▲65→▲82) 廃棄物処理業 (▲17→▲38)

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

ウ 主な上位・下位業種（中分類または小分類）

上位業種	下位業種
土木工事業 (3) 機械器具卸売業 (29) 機械器具小売業 (4)	金属製品製造業 (▲90)、生産用機械器具製造業 (▲78) 繊維・衣服等卸売業 (▲60)、医薬品・化粧品小売業 (▲67) 道路旅客運送業 (▲90)、宿泊業 (▲71)、飲食店 (▲82) 洗濯・理容・美容・浴場業 (▲79) その他の生活関連サービス業 (▲80)

エ 地域別の上昇・下降業種（大分類）

地 域	上昇業種（大分類）	下降業種（大分類）
道南 (▲42→▲32)	卸売・小売業 (▲62→29) 運輸業 (▲56→▲40) サービス業 (▲60→▲50)	建設業 (0→▲13) 製造業 (▲16→▲20)
道央 (▲44→▲33)	建設業 (▲27→▲14) 卸売・小売業 (▲43→▲12) サービス業 (▲57→▲44)	製造業 (▲33→▲35) 運輸業 (▲46→▲55)
道北 (▲40→▲33)	建設業 (▲13→▲7) 製造業 (▲54→▲35) 卸売・小売業 (▲18→▲7) 運輸業 (▲64→▲50)	サービス業 (▲42→▲52)
オホーツク (▲38→▲36)	建設業 (0→18) 製造業 (▲64→▲27)	卸売・小売業 (▲23→▲31) 運輸業 (▲73→▲75) サービス業 (▲36→▲57)
十勝 (▲44→▲30)	製造業 (▲83→▲54) 卸売・小売業 (▲39→▲9) 運輸業 (▲30→▲25) サービス業 (▲53→▲40)	
釧路・根室 (▲42→▲41)	卸売・小売業 (▲67→▲30) サービス業 (▲61→▲43)	建設業 (▲27→▲44) 製造業 (0→▲25) 運輸業 (▲45→▲58)

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

2 調査結果

1 経営状況

(1) 業況感

今期の業況感BSIは $\Delta 34$ （前期から9ポイント上昇）

- ・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、運輸業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が縮小、特に道南、道央、十勝は大幅に縮小

来期の業況感BSIは $\Delta 18$ （今期から16ポイント上昇）

図1-(1) 業況感

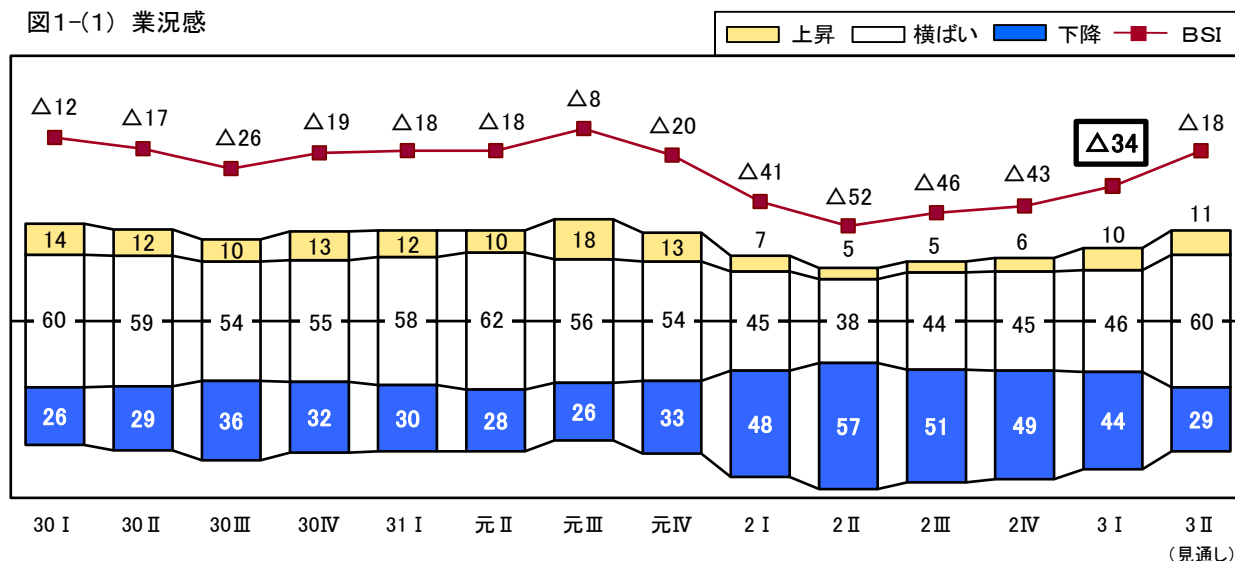


表1-(1) 業況感(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計	$\Delta 43$	10	46	44	$\Delta 34$	9	11	60	29	$\Delta 18$	16
札幌市を除く	$\Delta 42$	10	45	45	$\Delta 35$	7	10	59	31	$\Delta 21$	14
札幌市	$\Delta 43$	12	46	42	$\Delta 30$	13	16	64	20	$\Delta 4$	26
業 種											
建設業	$\Delta 16$	10	69	21	$\Delta 11$	5	4	70	26	$\Delta 22$	$\Delta 11$
製造業	$\Delta 39$	14	39	47	$\Delta 33$	6	15	56	29	$\Delta 14$	19
卸売・小売業	$\Delta 41$	20	43	37	$\Delta 17$	24	13	59	28	$\Delta 15$	2
運輸業	$\Delta 51$	2	44	54	$\Delta 52$	$\Delta 1$	11	61	28	$\Delta 17$	35
サービス業	$\Delta 54$	6	41	53	$\Delta 47$	7	11	58	31	$\Delta 20$	27
資 本 金											
5千万円未満	$\Delta 46$	9	43	48	$\Delta 39$	7	9	58	33	$\Delta 24$	15
5千万以上～1億円未満	$\Delta 31$	13	49	38	$\Delta 25$	6	13	68	19	$\Delta 6$	19
1億円以上	$\Delta 42$	13	54	33	$\Delta 20$	22	20	62	18	2	22
地 域											
道南	$\Delta 42$	5	58	37	$\Delta 32$	10	9	68	23	$\Delta 14$	18
道央	$\Delta 44$	12	43	45	$\Delta 33$	11	13	60	27	$\Delta 14$	19
札幌市を除く	$\Delta 45$	11	41	48	$\Delta 37$	8	10	56	34	$\Delta 24$	13
札幌市	$\Delta 43$	12	46	42	$\Delta 30$	13	16	64	20	$\Delta 4$	26
道北	$\Delta 40$	10	47	43	$\Delta 33$	7	9	57	34	$\Delta 25$	8
オホーツク	$\Delta 38$	10	44	46	$\Delta 36$	2	11	51	38	$\Delta 27$	9
十勝	$\Delta 44$	12	46	42	$\Delta 30$	14	15	56	29	$\Delta 14$	16
釧路・根室	$\Delta 42$	10	39	51	$\Delta 41$	1	5	66	29	$\Delta 24$	17

(2) 売上（生産）高

今期の売上（生産）高BSIは△36（前期から9ポイント上昇）

- ・業種別にみると、全ての業種でマイナス幅が縮小、特に製造業、卸売・小売業では大幅に縮小
- ・地域別にみると、道南、道央、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の売上（生産）高BSIは△18（今期から18ポイント上昇）

図1-(2) 売上（生産）高

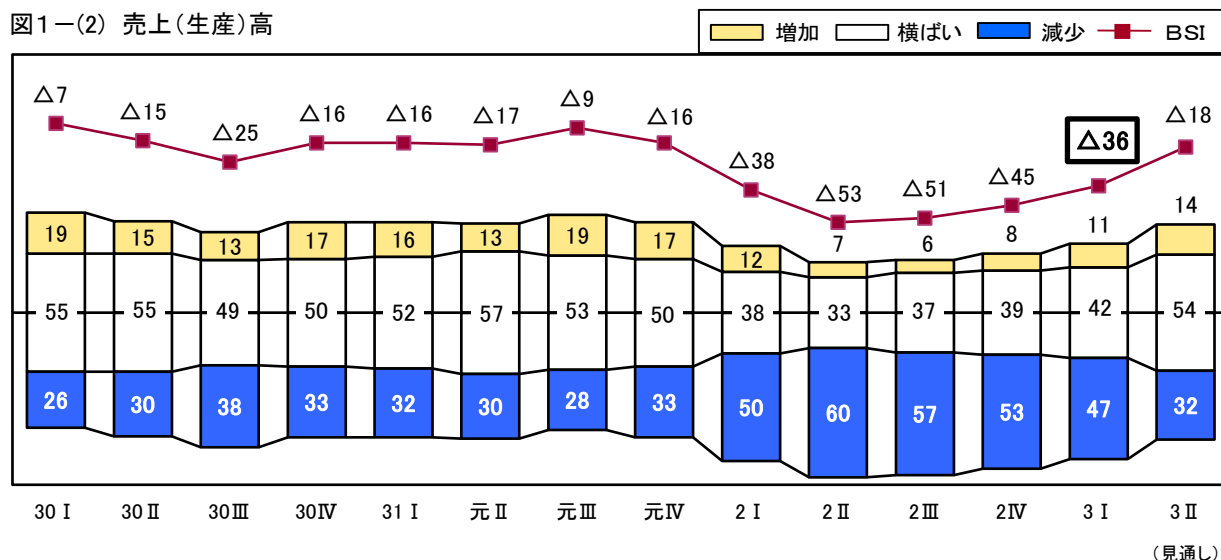


表1-(2) 売上（生産）高（業種・資本金・地域別）

区 分		R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 45	11	42	47	△ 36	9	14	54	32	△ 18	18
	札幌市を除く	△ 45	11	41	48	△ 37	8	13	52	35	△ 22	15
	札幌市	△ 42	13	44	43	△ 30	12	18	60	22	△ 4	26
業 種	建設業	△ 20	11	65	24	△ 13	7	6	61	33	△ 27	△ 14
	製造業	△ 46	17	34	49	△ 32	14	19	49	32	△ 13	19
	卸売・小売業	△ 41	21	37	42	△ 21	20	16	51	33	△ 17	4
	運輸業	△ 56	3	40	57	△ 54	2	12	57	31	△ 19	35
	サービス業	△ 55	6	39	55	△ 49	6	15	53	32	△ 17	32
資 本 金	5千万円未満	△ 48	10	39	51	△ 41	7	11	51	38	△ 27	14
	5千万以上～1億円未満	△ 36	12	47	41	△ 29	7	16	63	21	△ 5	24
	1億円以上	△ 42	17	50	33	△ 16	26	28	55	17	11	27
地 域	道南	△ 48	6	52	42	△ 36	12	10	62	28	△ 18	18
	道央	△ 47	12	42	46	△ 34	13	16	55	29	△ 13	21
	札幌市を除く	△ 50	12	39	49	△ 37	13	13	51	36	△ 23	14
	札幌市	△ 42	13	44	43	△ 30	12	18	60	22	△ 4	26
	道北	△ 46	11	44	45	△ 34	12	11	51	38	△ 27	7
	オホーツク	△ 38	13	32	55	△ 42	△ 4	16	40	44	△ 28	14
	十勝	△ 39	13	46	41	△ 28	11	19	50	31	△ 12	16
	釧路・根室	△ 47	12	32	56	△ 44	3	8	58	34	△ 26	18

(3) 経常利益

今期の経常利益BSIは△38（前期から5ポイント上昇）

- ・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業マイナス幅が縮小、運輸業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道南、道央、道北、十勝でマイナス幅が縮小、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の経常利益BSIは△26（今期から12ポイント上昇）

図1-(3) 経常利益

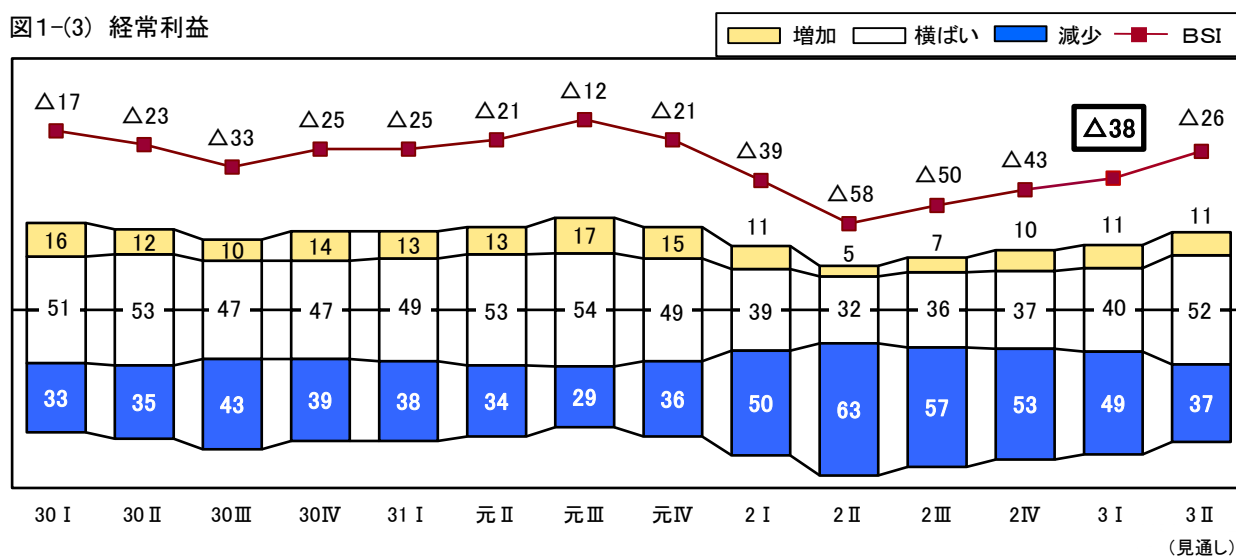


表1-(3) 経常利益(業種・資本金・地域別)

区 分		R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 43	11	40	49	△ 38	5	11	52	37	△ 26	12
札幌市を除く		△ 44	10	39	51	△ 41	3	10	49	41	△ 31	10
札幌市		△ 39	15	42	43	△ 28	11	17	59	24	△ 7	21
業 種	建設業	△ 21	10	60	30	△ 20	1	3	56	41	△ 38	△ 18
	製造業	△ 43	13	34	53	△ 40	3	13	51	36	△ 23	17
	卸売・小売業	△ 36	18	40	42	△ 24	12	11	52	37	△ 26	△ 2
	運輸業	△ 51	3	36	61	△ 58	△ 7	9	56	35	△ 26	32
	サービス業	△ 56	9	36	55	△ 46	10	15	48	37	△ 22	24
資 本 金	5千万円未満	△ 48	10	36	54	△ 44	4	9	47	44	△ 35	9
	5千万以上～1億円未満	△ 32	12	48	40	△ 28	4	14	58	28	△ 14	14
	1億円以上	△ 35	14	52	34	△ 20	15	20	63	17	3	23
地 域	道南	△ 52	7	49	44	△ 37	15	5	59	36	△ 31	6
	道央	△ 42	12	41	47	△ 35	7	14	54	32	△ 18	17
	札幌市を除く	△ 44	9	40	51	△ 42	2	11	49	40	△ 29	13
	札幌市	△ 39	15	42	43	△ 28	11	17	59	24	△ 7	21
	道北	△ 40	12	40	48	△ 36	4	12	49	39	△ 27	9
	オホーツク	△ 41	8	31	61	△ 53	△ 12	8	36	56	△ 48	5
	十勝	△ 41	13	43	44	△ 31	10	15	51	34	△ 19	12
	釧路・根室	△ 45	8	33	59	△ 51	△ 6	7	47	46	△ 39	12

(4) 資金繰り

今期の資金繰りBSIは $\Delta 18$ (前期から4ポイント上昇)

- ・業種別にみると、全ての業種でマイナス幅が縮小
- ・地域別にみると、道南、道央、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道北、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の資金繰りBSIは $\Delta 14$ (今期から4ポイント上昇)

図1-(4) 資金繰り

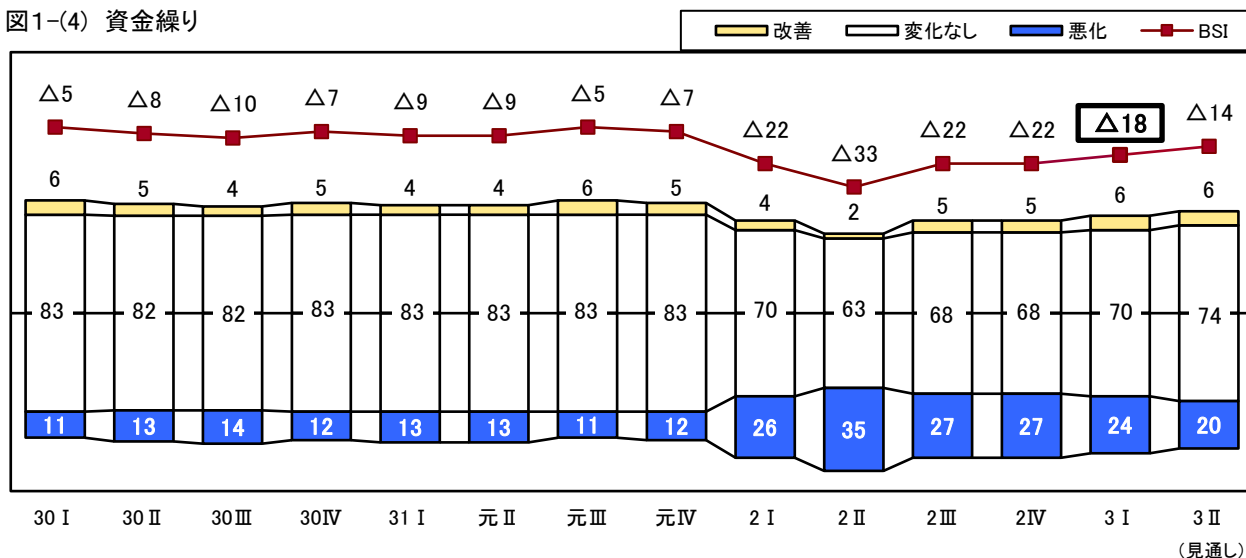


表1-(4) 資金繰り(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
		改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総 計	$\Delta 22$	6	70	24	$\Delta 18$	4	6	74	20	$\Delta 14$	4
札幌市を除く	$\Delta 22$	6	69	25	$\Delta 19$	3	5	73	22	$\Delta 17$	2
札幌市	$\Delta 22$	5	75	20	$\Delta 15$	7	9	78	13	$\Delta 4$	11
業 種											
建設業	$\Delta 5$	5	88	7	$\Delta 2$	3	2	91	7	$\Delta 5$	$\Delta 3$
製造業	$\Delta 19$	9	68	23	$\Delta 14$	5	7	77	16	$\Delta 9$	5
卸売・小売業	$\Delta 17$	6	75	19	$\Delta 13$	4	5	78	17	$\Delta 12$	1
運輸業	$\Delta 28$	6	65	29	$\Delta 23$	5	8	65	27	$\Delta 19$	4
サービス業	$\Delta 33$	5	61	34	$\Delta 29$	4	6	65	29	$\Delta 23$	6
資 本 金											
5千万円未満	$\Delta 24$	6	66	28	$\Delta 22$	2	4	70	26	$\Delta 22$	0
5千万以上～1億円未満	$\Delta 19$	10	72	18	$\Delta 8$	11	13	74	13	0	8
1億円以上	$\Delta 18$	5	82	13	$\Delta 8$	10	6	89	5	1	9
地 域											
道南	$\Delta 30$	2	71	27	$\Delta 25$	5	2	78	20	$\Delta 18$	7
道央	$\Delta 21$	6	73	21	$\Delta 15$	6	8	76	16	$\Delta 8$	7
札幌市を除く	$\Delta 21$	7	71	22	$\Delta 15$	6	8	73	19	$\Delta 11$	4
札幌市	$\Delta 22$	5	75	20	$\Delta 15$	7	9	78	13	$\Delta 4$	11
道北	$\Delta 24$	5	64	31	$\Delta 26$	$\Delta 2$	6	66	28	$\Delta 22$	4
オホーツク	$\Delta 16$	7	68	25	$\Delta 18$	$\Delta 2$	2	75	23	$\Delta 21$	$\Delta 3$
十勝	$\Delta 18$	10	71	19	$\Delta 9$	9	4	77	19	$\Delta 15$	$\Delta 6$
釧路・根室	$\Delta 24$	8	65	27	$\Delta 19$	5	3	68	29	$\Delta 26$	$\Delta 7$

2 雇用状況

(1) 雇用者総数

今期の雇用者総数BSIは△10（前期から2ポイント上昇）

- ・業種別にみると、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でプラス幅が縮小、製造業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道央、オホーツク、十勝でマイナス幅が縮小、道南、道北、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数BSIは0（今期から10ポイント上昇）

図2-1(1) 雇用者総数

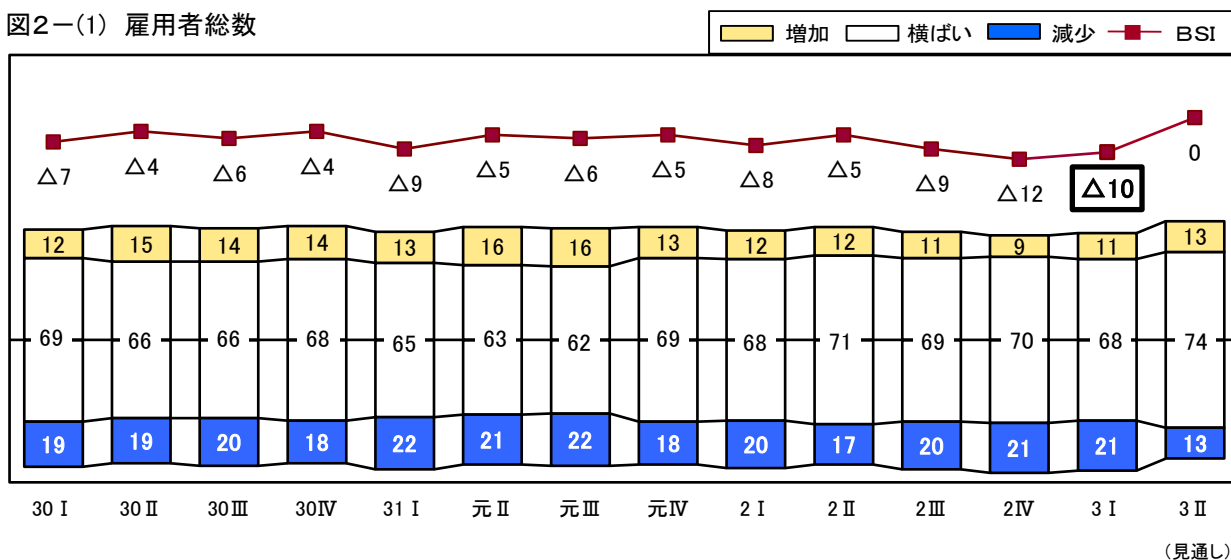


表2-1(1) 雇用者総数(業種・資本金・地域別)

区 分		R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 12	11	68	21	△ 10	2	13	74	13	0	10
札幌市を除く		△ 12	9	70	21	△ 12	0	13	73	14	△ 1	11
札幌市		△ 12	15	65	20	△ 5	7	17	72	11	6	11
業 種	建設業	9	22	63	15	7	△ 2	24	63	13	11	4
	製造業	△ 12	8	71	21	△ 13	△ 1	15	72	13	2	15
	卸売・小売業	△ 13	8	75	17	△ 9	4	11	79	10	1	10
	運輸業	△ 23	11	63	26	△ 15	8	9	74	17	△ 8	7
	サービス業	△ 17	8	69	23	△ 15	2	12	74	14	△ 2	13
資 本 金	5千万円未満	△ 16	8	72	20	△ 12	4	10	77	13	△ 3	9
	5千万以上～1億円未満	△ 14	10	64	26	△ 16	△ 2	22	60	18	4	20
	1億円以上	7	22	62	16	6	△ 1	20	73	7	13	7
地 域	道南	△ 13	6	73	21	△ 15	△ 2	11	78	11	0	15
	道央	△ 9	14	70	16	△ 2	7	15	74	11	4	6
	札幌市を除く	△ 6	12	76	12	0	6	13	76	11	2	2
	札幌市	△ 12	15	65	20	△ 5	7	17	72	11	6	11
	道北	△ 18	8	63	29	△ 21	△ 3	12	69	19	△ 7	14
	オホーツク	△ 23	11	66	23	△ 12	11	16	66	18	△ 2	10
	十勝	△ 12	7	74	19	△ 12	0	13	75	12	1	13
	釧路・根室	△ 11	8	65	27	△ 19	△ 8	10	75	15	△ 5	14

(2) 雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感BSIは30（前期から横ばい）

- ・業種別にみると、卸売・小売業でプラス幅が拡大、建設業、製造業、運輸業、サービス業でプラス幅が縮小
- ・地域別にみると、道央でプラス幅が拡大、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室でプラス幅が縮小

来期の雇用者の不足感BSIは30（今期から横ばい）

図2-(2) 雇用者の不足感

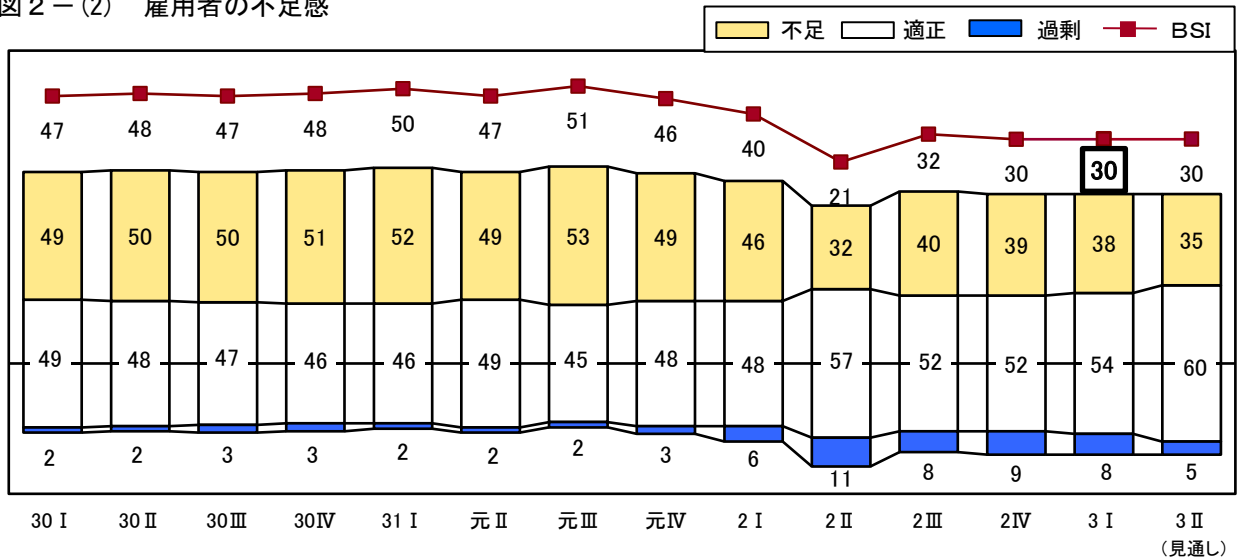


表2-(2) 雇用者の不足感(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総 計	30	38	54	8	30	0	35	60	5	30	0
札幌市を除く	33	38	54	8	30	△ 3	35	59	6	29	△ 1
札幌市	22	39	53	8	31	9	35	62	3	32	1
業 種											
建設業	57	58	38	4	54	△ 3	55	44	1	54	0
製造業	35	38	56	6	32	△ 3	32	65	3	29	△ 3
卸売・小売業	20	30	64	6	24	4	27	68	5	22	△ 2
運輸業	41	47	46	7	40	△ 1	43	49	8	35	△ 5
サービス業	17	30	56	14	16	△ 1	28	63	9	19	3
資 本 金											
5千万円未満	30	37	54	9	28	△ 2	34	59	7	27	△ 1
5千万以上～1億円未満	34	45	49	6	39	5	41	56	3	38	△ 1
1億円以上	29	34	58	8	26	△ 3	30	66	4	26	0
地 域											
道南	20	28	63	9	19	△ 1	28	66	6	22	3
道央	22	36	54	10	26	4	33	61	6	27	1
札幌市を除く	21	34	54	12	22	1	30	61	9	21	△ 1
札幌市	22	39	53	8	31	9	35	62	3	32	1
道北	46	51	43	6	45	△ 1	46	52	2	44	△ 1
オホーツク	40	44	51	5	39	△ 1	39	56	5	34	△ 5
十勝	52	44	49	7	37	△ 15	39	57	4	35	△ 2
釧路・根室	29	31	60	9	22	△ 7	32	61	7	25	3

(3) 残業時間

今期の残業時間BSIは△31（前期から3ポイント上昇）

- ・業種別にみると、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業、製造業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道南、道央、道北、十勝でマイナス幅が縮小、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の残業時間BSIは△19（今期から12ポイント上昇）

図2-(3) 残業時間

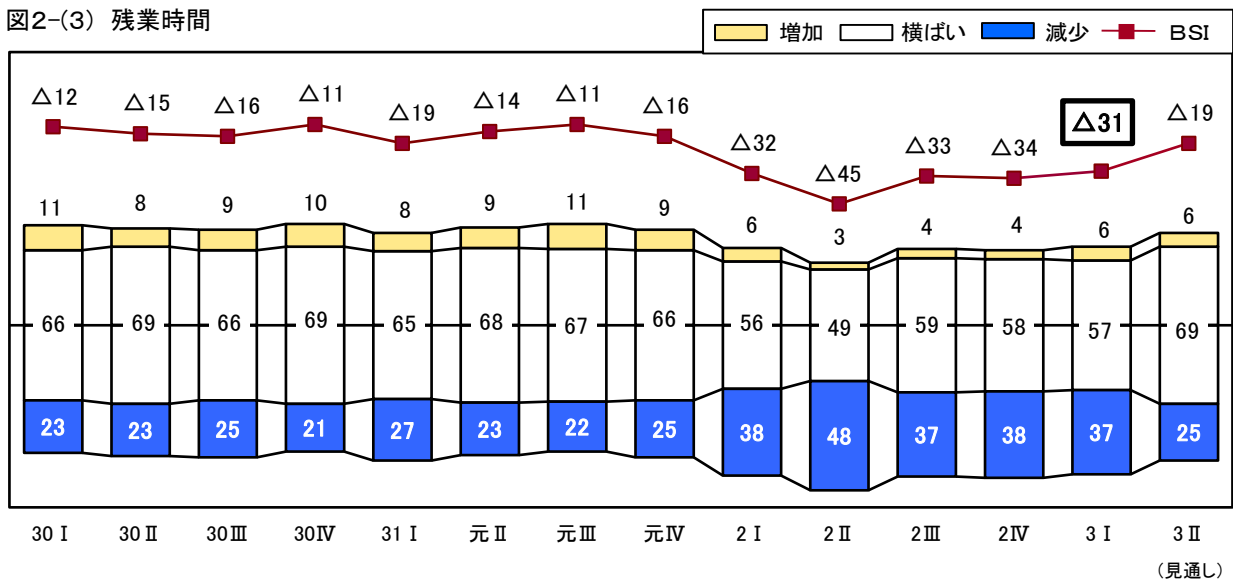


表2-(3) 残業時間(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	△ 34	6	57	37	△ 31	3	6	69	25	△ 19	12
札幌市を除く	△ 34	5	58	37	△ 32	2	6	69	25	△ 19	13
札幌市	△ 35	8	55	37	△ 29	6	8	70	22	△ 14	15
業 種											
建設業	△ 14	4	62	34	△ 30	△ 16	3	67	30	△ 27	3
製造業	△ 29	7	47	46	△ 39	△ 10	11	66	23	△ 12	27
卸売・小売業	△ 37	7	69	24	△ 17	20	6	78	16	△ 10	7
運輸業	△ 41	10	47	43	△ 33	8	5	66	29	△ 24	9
サービス業	△ 45	4	56	40	△ 36	9	5	69	26	△ 21	15
資 本 金											
5千万円未満	△ 36	6	56	38	△ 32	4	4	69	27	△ 23	9
5千万以上～1億円未満	△ 32	1	55	44	△ 43	△ 11	5	74	21	△ 16	27
1億円以上	△ 33	14	58	28	△ 14	19	16	64	20	△ 4	10
地 域											
道南	△ 39	2	58	40	△ 38	1	4	70	26	△ 22	16
道央	△ 33	8	57	35	△ 27	6	7	70	23	△ 16	11
札幌市を除く	△ 32	9	57	34	△ 25	7	6	71	23	△ 17	8
札幌市	△ 35	8	55	37	△ 29	6	8	70	22	△ 14	15
道北	△ 31	8	58	34	△ 26	5	8	62	30	△ 22	4
オホーツク	△ 35	3	48	49	△ 46	△ 11	5	68	27	△ 22	24
十勝	△ 40	4	66	30	△ 26	14	5	73	22	△ 17	9
釧路・根室	△ 34	2	53	45	△ 43	△ 9	5	70	25	△ 20	23

(4) 1人当たり賃金

今期の1人当たり賃金BSIは9（前期から4ポイント上昇）

- ・業種別にみると、製造業、卸売・小売業でプラス幅が拡大、建設業でプラス幅が縮小、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小
- ・地域別に見ると、道央、道北、十勝、釧路・根室でプラス幅が拡大、道南でプラスに転換、オホーツクでプラス幅が縮小

来期の1人当たり賃金BSIは11（今期から2ポイント上昇）

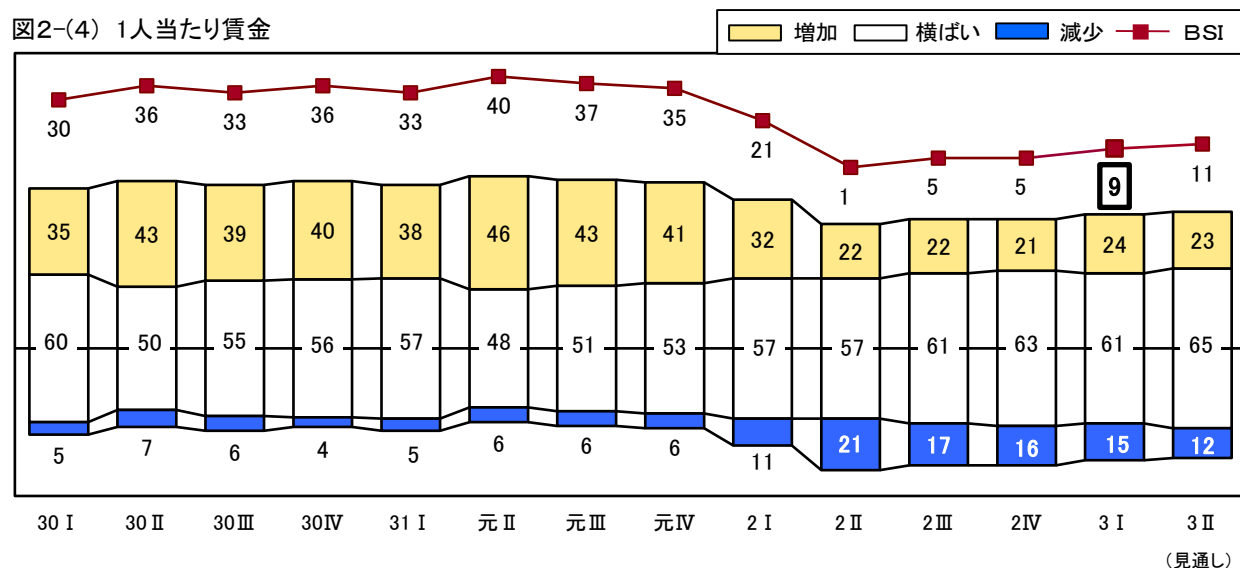


表2-(4) 1人当たり賃金(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	5	24	61	15	9	4	23	65	12	11	2
札幌市を除く	4	23	61	16	7	3	23	65	12	11	4
札幌市	8	28	57	15	13	5	23	67	10	13	0
業 種											
建設業	40	39	53	8	31	△ 9	34	58	8	26	△ 5
製造業	10	23	65	12	11	1	27	68	5	22	11
卸売・小売業	10	26	70	4	22	12	19	74	7	12	△ 10
運輸業	△ 14	19	49	32	△ 13	1	23	55	22	1	14
サービス業	△ 12	18	62	20	△ 2	10	19	65	16	3	5
資 本 金											
5千万円未満	1	23	61	16	7	6	21	65	14	7	0
5千万以上～1億円未満	13	23	58	19	4	△ 9	24	67	9	15	11
1億円以上	11	29	63	8	21	10	33	62	5	28	7
地 域											
道南	△ 2	21	67	12	9	11	21	69	10	11	2
道央	4	25	60	15	10	6	22	67	11	11	1
札幌市を除く	0	22	63	15	7	7	20	68	12	8	1
札幌市	8	28	57	15	13	5	23	67	10	13	0
道北	6	25	56	19	6	0	22	61	17	5	△ 1
オホーツク	14	29	48	23	6	△ 8	31	54	15	16	10
十勝	6	19	72	9	10	4	26	68	6	20	10
釧路・根室	1	22	61	17	5	4	26	60	14	12	7

3 在庫、価格水準

(1) 製造業

今期の実績

- ・ 製品在庫水準は、前期と比べ、「過大」が拡大、「不足」が横ばい、「適正」が縮小
- ・ 仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
- ・ 製品価格は、前期と比べ、「上昇」「横ばい」が拡大、「下降」が縮小

来期の見通し

- ・ 製品在庫水準は、「不足」「適正」が拡大、「過大」が縮小
- ・ 仕入価格は、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
- ・ 製品価格は、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小

図3－(1) 製品在庫水準

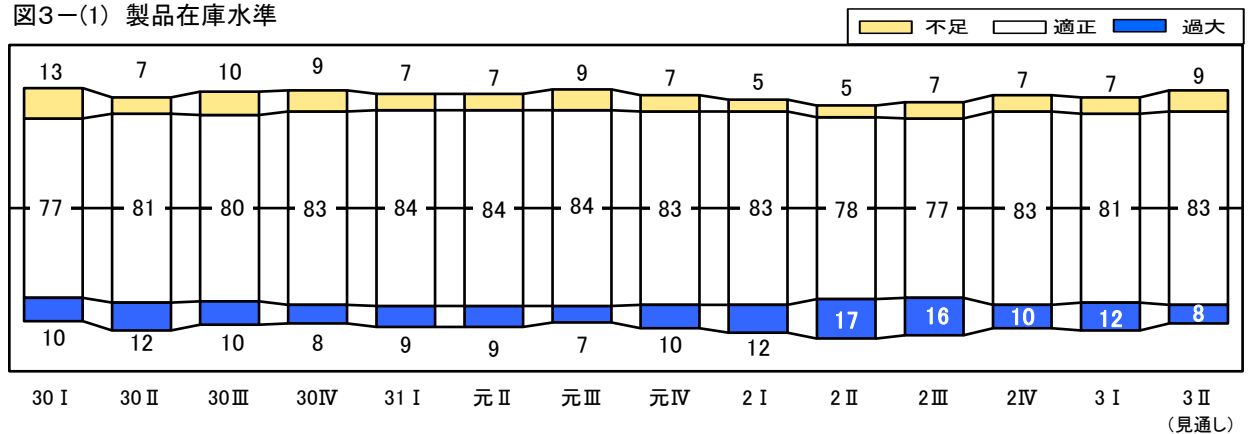


図3－(2) 仕入価格(原材料)

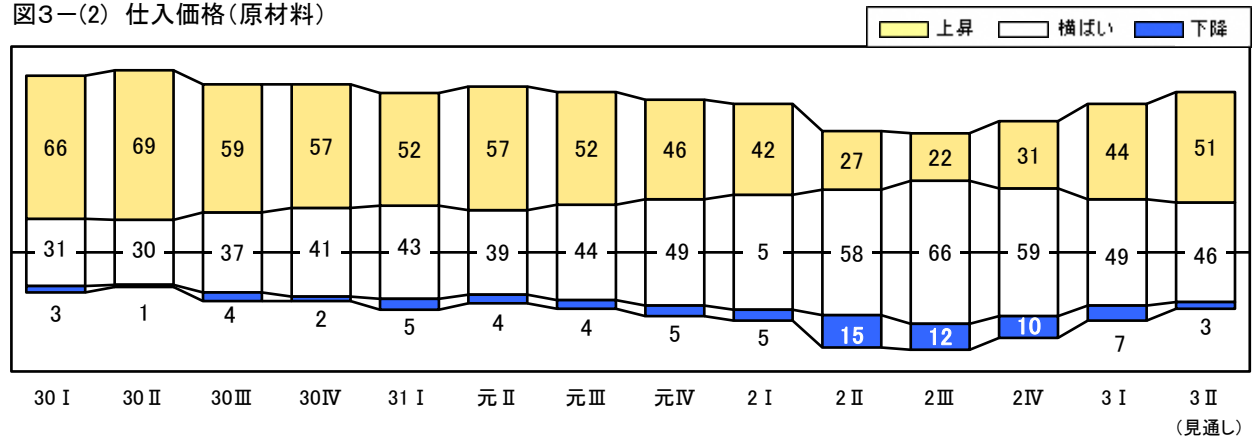
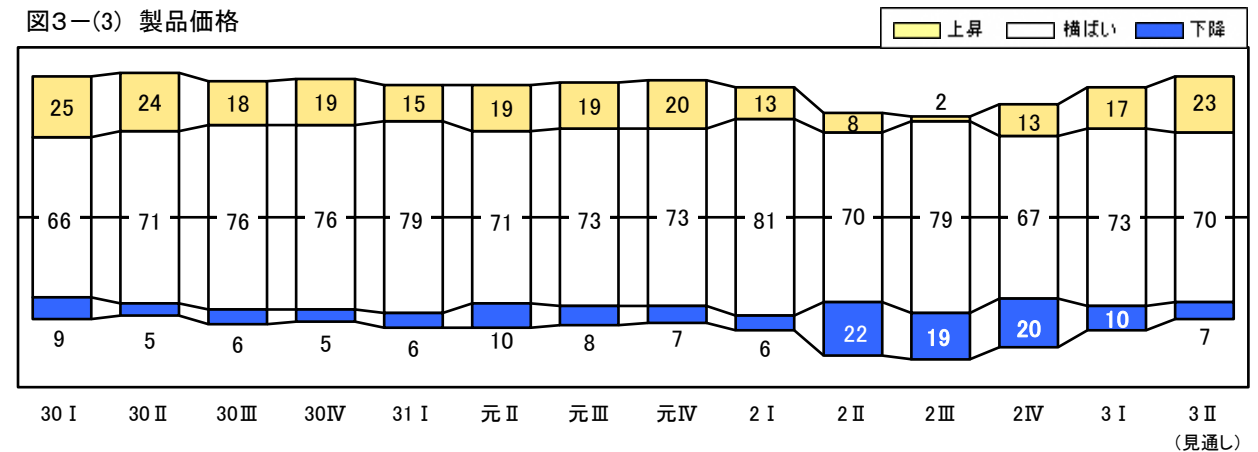


図3－(3) 製品価格



(2) 卸売・小売業

今期の実績

- ・商品在庫水準は、前期と比べ、「不足」「適正」が拡大、「過大」が縮小
- ・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
- ・商品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小

来期の見通し

- ・商品在庫水準は、「不足」「適正」が拡大、「過大」が縮小
- ・仕入価格は、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小
- ・商品価格は、「上昇」が拡大、「下降」が横ばい、「横ばい」が縮小

図3－(4) 商品在庫水準

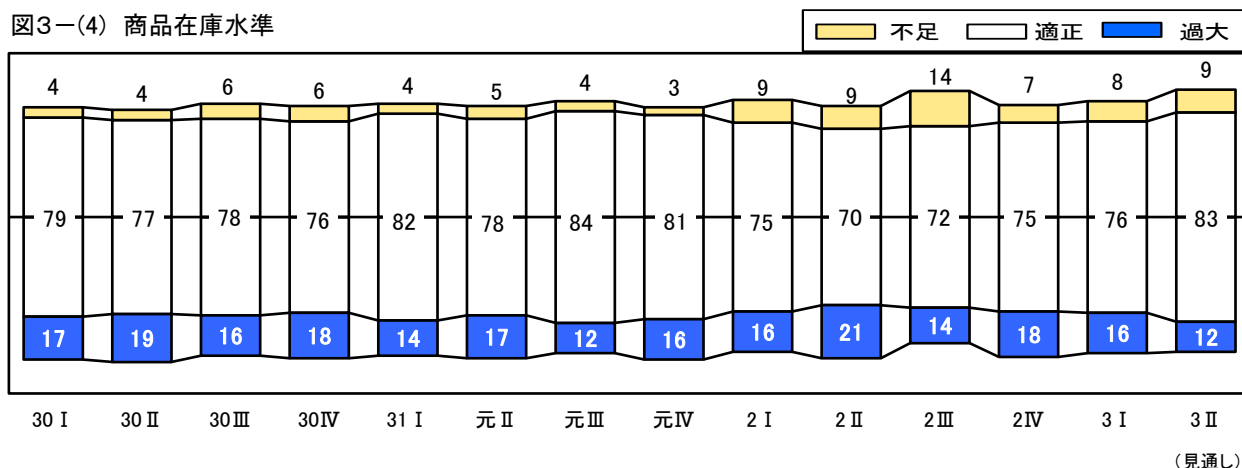


図3－(5) 仕入価格(商品)

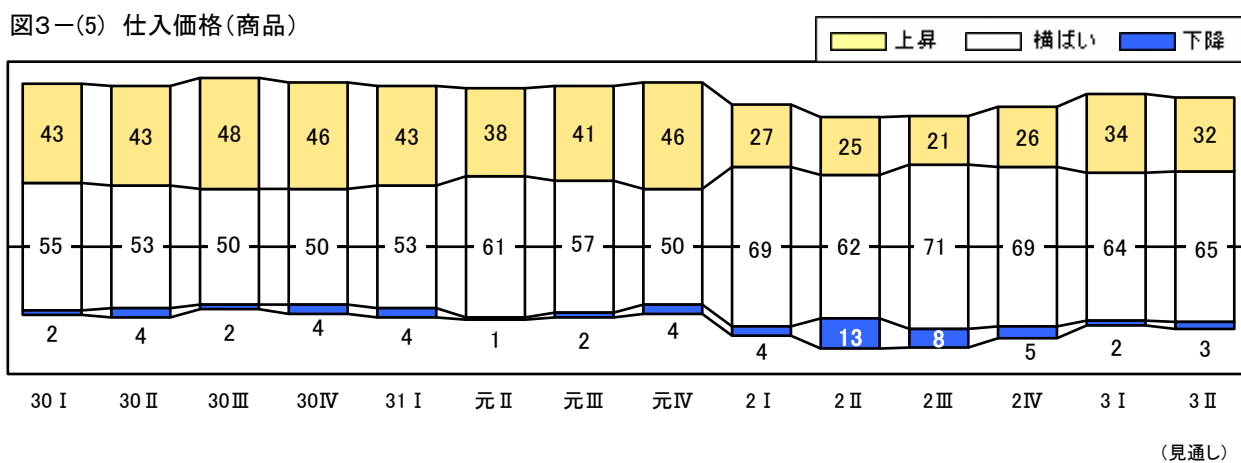
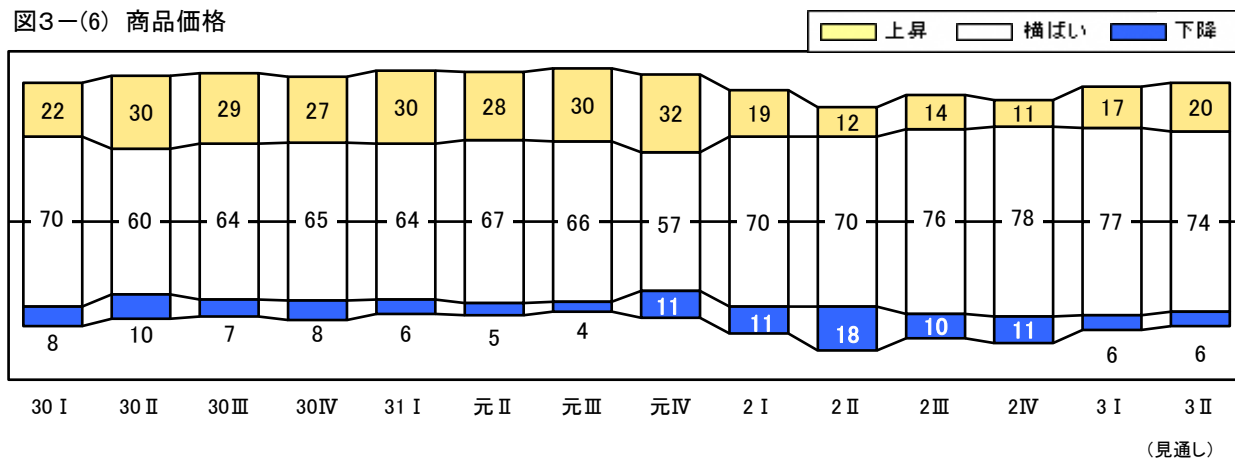


図3－(6) 商品価格



4 設備投資の状況

今期の実績

- ・「設備投資をした」と回答した企業は32%で、前期から下降
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が74%、「生産・販売能力拡大」が23%、「合理化・省力化」が21%（複数回答）

来期の見通し

- ・「設備投資をする」と回答した企業は34%で、今期から上昇
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が81%、「生産・販売能力拡大」が22%、「合理化・省力化」が21%（複数回答）

図4－(1) 設備投資の状況

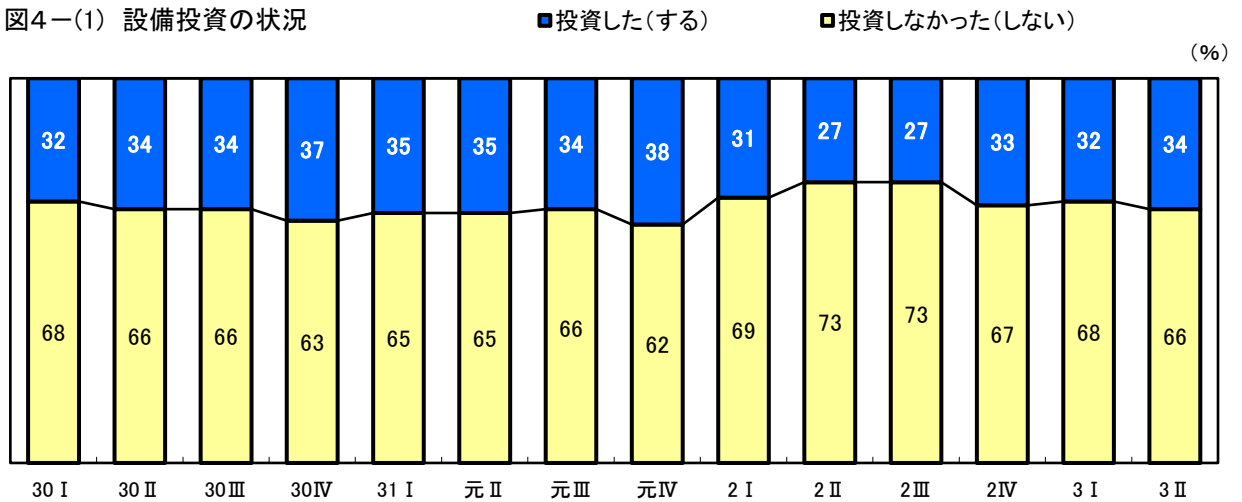


図4－(2) 設備投資の目的(複数回答)

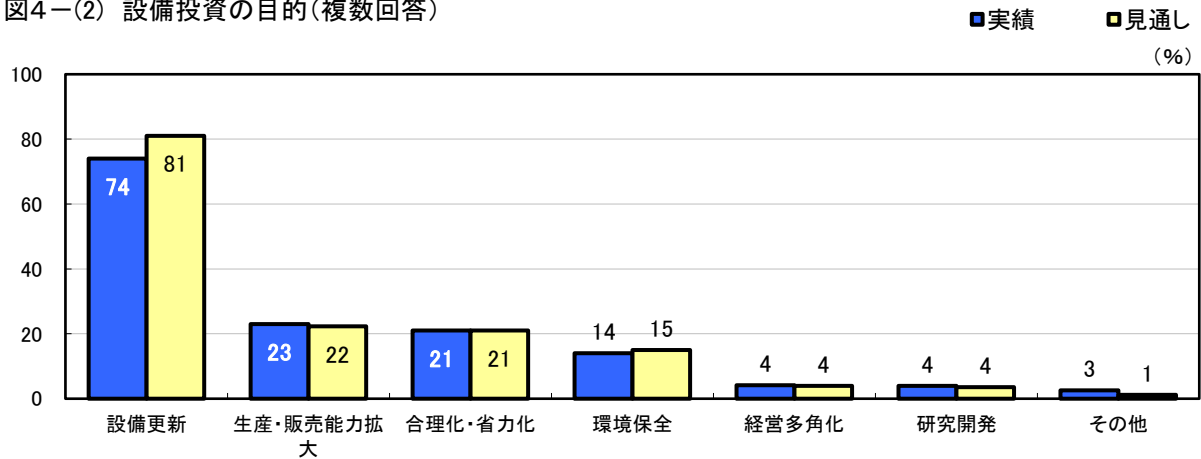


表4－(1) 設備投資の状況(R3年1-3実績)(業種・資本金・地域別) (%)

区 分	R2年 10-12月 設備投資した	R3年 1-3月 設備投資した	設備投資の目的(複数回答)						
			設備 更新	生産・ 販売能 力拡大	合理化 省力化	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	33	32	74	23	21	14	4	4	3
札幌市を除く	32	31	76	22	19	16	4	3	2
札幌市	36	40	67	27	25	6	5	6	6
業 種									
建設業	31	35	73	33	18	3	0	6	3
製造業	46	39	70	23	25	16	9	5	2
卸売・小売業	29	34	67	10	24	21	0	2	7
運輸業	44	39	94	14	11	3	0	0	0
サービス業	23	24	69	36	22	20	9	7	2
資 本 金									
5千万円未満	26	26	66	25	18	21	7	3	2
5千万以上～1億円未満	32	39	82	18	23	5	3	7	5
1億円以上	62	55	85	24	24	4	0	4	4
地 域									
道南	29	23	68	32	11	21	5	0	0
道央	34	38	68	25	22	12	3	5	5
札幌市を除く	33	36	68	23	19	19	2	4	4
札幌市	36	40	67	27	25	6	5	6	6
道北	31	30	80	20	28	20	8	8	0
オホーツク	34	29	72	17	11	6	0	6	6
十勝	36	28	79	26	32	11	5	0	0
釧路・根室	27	34	100	10	10	15	6	0	0

表4－(2) 設備投資の状況(R3年4-6月見通し)(業種・資本金・地域別) (%)

区 分	R3年4-6月 設備投資する	設備投資の目的(複数回答)						
		設備 更新	生産・ 販売能 力拡大	合理化 省力化	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	34	81	22	21	15	4	4	1
札幌市を除く	32	83	21	19	15	4	3	1
札幌市	38	73	29	29	14	2	6	2
業 種								
建設業	35	78	31	28	3	0	3	0
製造業	38	81	30	28	12	7	2	0
卸売・小売業	29	75	17	19	25	0	0	8
運輸業	44	95	13	10	5	3	0	0
サービス業	30	76	22	22	24	7	11	0
資 本 金								
5千万円未満	28	81	20	17	21	5	3	2
5千万以上～1億円未満	40	80	22	22	2	0	4	2
1億円以上	54	82	29	33	11	2	7	0
地 域								
道南	25	75	20	20	10	0	0	5
道央	36	80	29	27	17	4	4	1
札幌市を除く	35	87	29	24	20	6	2	0
札幌市	38	73	29	29	14	2	6	2
道北	43	91	18	21	6	4	6	0
オホーツク	25	73	13	13	20	6	7	0
十勝	31	81	14	24	10	5	5	0
釧路・根室	39	82	18	5	23	0	0	5

5 地域別にみる各産業の動向

(1) 道南

今期の業況感BSIは △ 32 (前期から 10 ポイント上昇)

主な上昇業種…窯業・土石製品製造業 (▲100→0)、
 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (▲100→0)、機械器具卸売業 (0→100)、
 飲食料品小売業 (▲100→▲33)、道路旅客運送業 (▲100→0)、
 水運業 (▲100→▲50)、技術サービス業 (▲50→0)

主な下降業種…総合工事業 (0→▲13)、木材・木製品製造業 (▲50→▲100)、
 飲食料品卸売業 (▲67→▲75)、織物・衣服・身の回り品 (▲50→▲100)、
 道路貨物運送業 (0→▲33)、飲食店 (▲34→▲50)

来期の業況感BSIは △ 14 (今期から 18 ポイント上昇)

図5-(1) 地域別BSIの推移【道南】

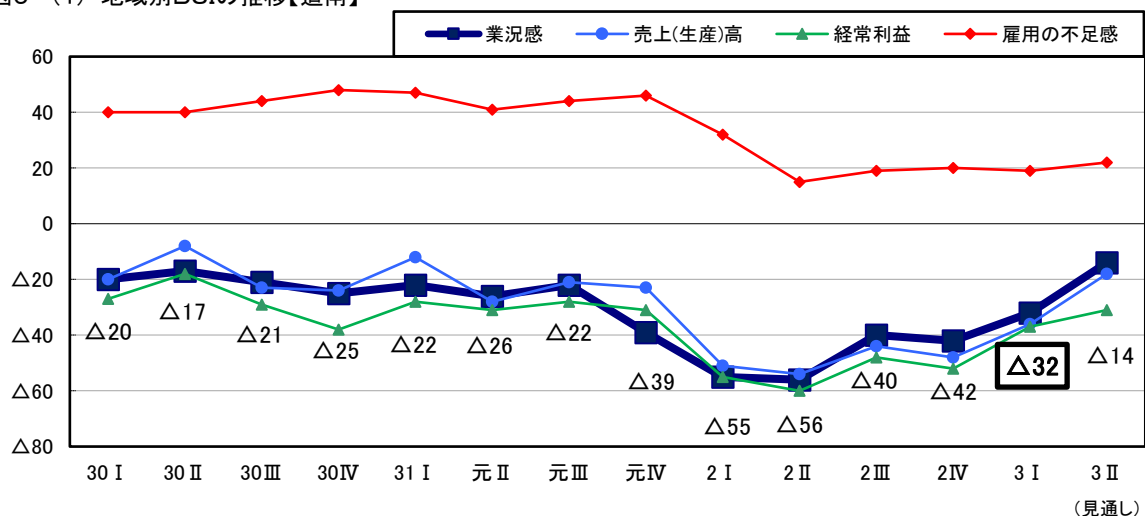


表5-(1) 地域別BSI【道南】

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 42	5	58	37	△ 32	10	9	68	23	△ 14	18
	建設業	0	7	73	20	△ 13	△ 13	0	80	20	△ 20	△ 7
	製造業	△ 16	7	66	27	△ 20	△ 4	20	67	13	7	27
	卸売・小売業	△ 62	12	47	41	△ 29	33	12	53	35	△ 23	6
	運輸業	△ 56	0	60	40	△ 40	16	20	80	0	20	60
	サービス業	△ 60	0	50	50	△ 50	10	0	68	32	△ 32	18
売上 (生産)高	全産業	△ 48	6	52	42	△ 36	12	10	62	28	△ 18	18
	建設業	△ 9	7	73	20	△ 13	△ 4	0	73	27	△ 27	△ 14
	製造業	△ 31	7	53	40	△ 33	△ 2	21	58	21	0	33
	卸売・小売業	△ 61	11	45	44	△ 33	28	17	55	28	△ 11	22
	運輸業	△ 56	10	50	40	△ 30	26	10	80	10	0	30
	サービス業	△ 65	0	43	57	△ 57	8	4	57	39	△ 35	22
経常利益	全産業	△ 52	7	49	44	△ 37	15	5	59	36	△ 31	6
	建設業	△ 25	7	60	33	△ 26	△ 1	0	60	40	△ 40	△ 14
	製造業	△ 31	7	53	40	△ 33	△ 2	7	66	27	△ 20	13
	卸売・小売業	△ 69	11	45	44	△ 33	36	6	50	44	△ 38	△ 5
	運輸業	△ 56	10	50	40	△ 30	26	10	80	10	0	30
	サービス業	△ 65	4	39	57	△ 53	12	4	53	43	△ 39	14
雇用者の 不足感	全産業	20	28	63	9	19	△ 1	28	66	6	22	3
	建設業	58	53	47	0	53	△ 5	47	53	0	47	△ 6
	製造業	46	40	53	7	33	△ 13	40	60	0	40	7
	卸売・小売業	23	11	83	6	5	△ 18	11	83	6	5	0
	運輸業	11	30	70	0	30	19	30	70	0	30	0
	サービス業	△ 8	14	63	23	△ 9	△ 1	18	64	18	0	9

※「売上(生産)高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、
 「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。(以下、同じ。)

(2) 道央

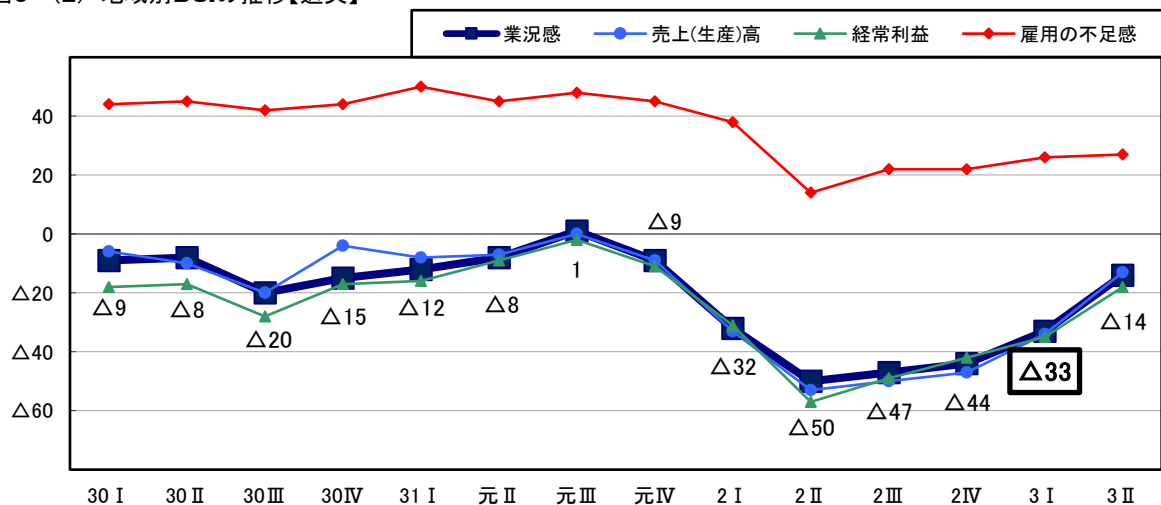
今期の業況感BSIは △ 33 (前期から 11 ポイント上昇)

主な上昇業種…飲食料品卸売業 (▲16→43)、各種商品小売業 (▲100→100)、
織物・衣服・身の回り品 (▲100→0)、航空運輸業 (▲100→0)、
広告業 (▲67→100)、機械等修理業 (▲67→0)、
職業紹介・労働派遣業 (▲67→0)

主な下降業種…食料品製造業 (▲16→▲50)、金属製品製造業 (▲67→▲100)、
電気機械器具製造業 (50→0)、輸送用機械器具製造業 (0→▲100)、
道路貨物運送業 (▲34→▲57)、廃棄物処理業 (0→▲25)

来期の業況感BSIは △ 14 (今期から 19 ポイント上昇)

図5-(2) 地域別BSIの推移【道央】



(見通し)

表5-(2) 地域別BSI【道央】

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 44	12	43	45	△ 33	11	13	60	27	△ 14	19
	建設業	△ 27	9	68	23	△ 14	13	3	71	26	△ 23	△ 9
	製造業	△ 33	13	39	48	△ 35	△ 2	13	54	33	△ 20	15
	卸売・小売業	△ 43	23	42	35	△ 12	31	16	55	29	△ 13	△ 1
	運輸業	△ 46	6	33	61	△ 55	△ 9	15	55	30	△ 15	40
	サービス業	△ 57	8	40	52	△ 44	13	15	64	21	△ 6	38
売上 (生産)高	全産業	△ 47	12	42	46	△ 34	13	16	55	29	△ 13	21
	建設業	△ 33	9	68	23	△ 14	19	9	60	31	△ 22	△ 8
	製造業	△ 37	16	35	49	△ 33	4	16	51	33	△ 17	16
	卸売・小売業	△ 42	25	38	37	△ 12	30	18	48	34	△ 16	△ 4
	運輸業	△ 52	3	30	67	△ 64	△ 12	15	55	30	△ 15	49
	サービス業	△ 57	8	40	52	△ 44	13	18	59	23	△ 5	39
経常利益	全産業	△ 42	12	41	47	△ 35	7	14	54	32	△ 18	17
	建設業	△ 33	6	65	29	△ 23	10	6	57	37	△ 31	△ 8
	製造業	△ 30	13	34	53	△ 40	△ 10	13	51	36	△ 23	17
	卸売・小売業	△ 30	21	40	39	△ 18	12	14	48	38	△ 24	△ 6
	運輸業	△ 55	6	30	64	△ 58	△ 3	12	58	30	△ 18	40
	サービス業	△ 52	10	40	50	△ 40	12	18	57	25	△ 7	33
雇用者の 不足感	全産業	22	36	54	10	26	4	33	61	6	27	1
	建設業	50	62	35	3	59	9	59	38	3	56	△ 3
	製造業	23	36	53	11	25	2	22	71	7	15	△ 10
	卸売・小売業	12	30	61	9	21	9	25	70	5	20	△ 1
	運輸業	39	36	55	9	27	△ 12	36	58	6	30	3
	サービス業	10	31	56	13	18	8	31	61	8	23	5

(2) - ① 道央（札幌市を除く）

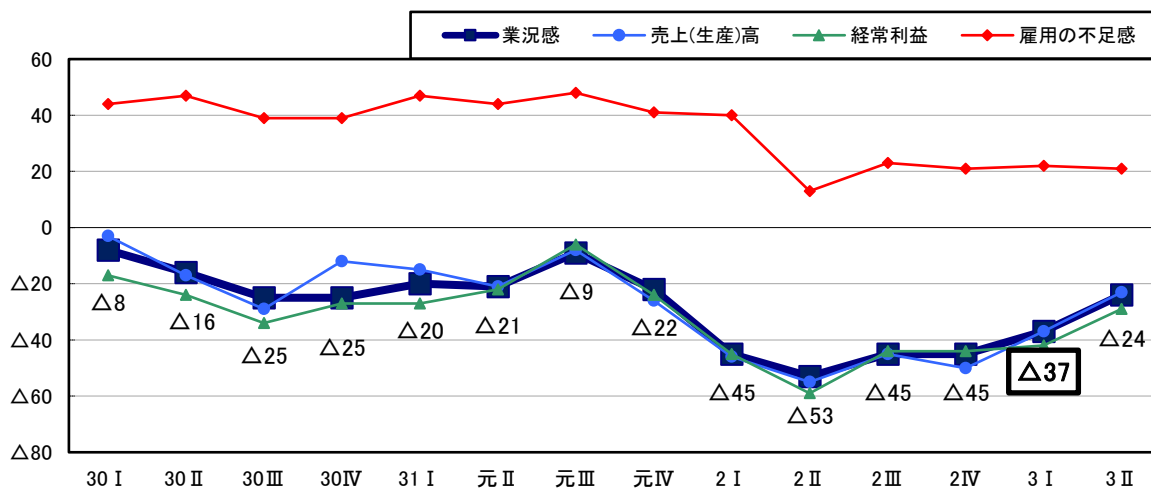
今期の業況感BSIは △ 37（前期から8ポイント上昇）

主な上昇業種・・・建築材料・鉱物・金属材料等卸売業（▲50→0）、
 機械器具卸売業（▲100→100）、機械器具小売業（▲100→▲50）、
 技術サービス業（0→50）、洗濯・理容・美容・浴場業（▲100→▲50）、
 自動車整備業（▲50→0）

主な下降業種・・・総合工事業（▲30→▲50）、輸送用機械器具製造業（50→▲50）
 道路貨物運送業（▲25→▲40）、水運業（0→▲100）

来期の業況感BSIは △ 24（今期から13ポイント上昇）

図5-(2)-① 地域別BSIの推移【道央(札幌市を除く)】



(見通し)

表5-(2)-① 地域別BSI【道央(札幌市を除く)】

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 45	11	41	48	△ 37	8	10	56	34	△ 24	13
	建設業	△ 37	6	65	29	△ 23	14	0	59	41	△ 41	△ 18
	製造業	△ 31	15	47	38	△ 23	8	16	48	36	△ 20	3
	卸売・小売業	△ 57	18	36	46	△ 28	29	11	56	33	△ 22	6
	運輸業	△ 35	6	38	56	△ 50	△ 15	11	67	22	△ 11	39
	サービス業	△ 55	10	30	60	△ 50	5	10	55	35	△ 25	25
売上 (生産)高	全産業	△ 50	12	39	49	△ 37	13	13	51	36	△ 23	14
	建設業	△ 42	6	59	35	△ 29	13	0	53	47	△ 47	△ 18
	製造業	△ 40	16	44	40	△ 24	16	20	44	36	△ 16	8
	卸売・小売業	△ 55	18	39	43	△ 25	30	14	47	39	△ 25	0
	運輸業	△ 44	6	33	61	△ 55	△ 11	11	61	28	△ 17	38
	サービス業	△ 58	10	31	59	△ 49	9	14	53	33	△ 19	30
経常利益	全産業	△ 44	9	40	51	△ 42	2	11	49	40	△ 29	13
	建設業	△ 42	0	65	35	△ 35	7	0	53	47	△ 47	△ 12
	製造業	△ 27	16	40	44	△ 28	△ 1	16	40	44	△ 28	0
	卸売・小売業	△ 42	4	46	50	△ 46	△ 4	11	46	43	△ 32	14
	運輸業	△ 56	11	28	61	△ 50	6	6	66	28	△ 22	28
	サービス業	△ 54	10	31	59	△ 49	5	14	48	38	△ 24	25
雇用の 不足感	全産業	21	34	54	12	22	1	30	61	9	21	△ 1
	建設業	38	65	29	6	59	21	59	35	6	53	△ 6
	製造業	24	36	56	8	28	4	20	76	4	16	△ 12
	卸売・小売業	7	18	71	11	7	0	18	75	7	11	4
	運輸業	28	33	61	6	27	△ 1	33	61	6	27	0
	サービス業	20	30	50	20	10	△ 10	32	51	17	15	5

(2) - ② 道央(札幌市)

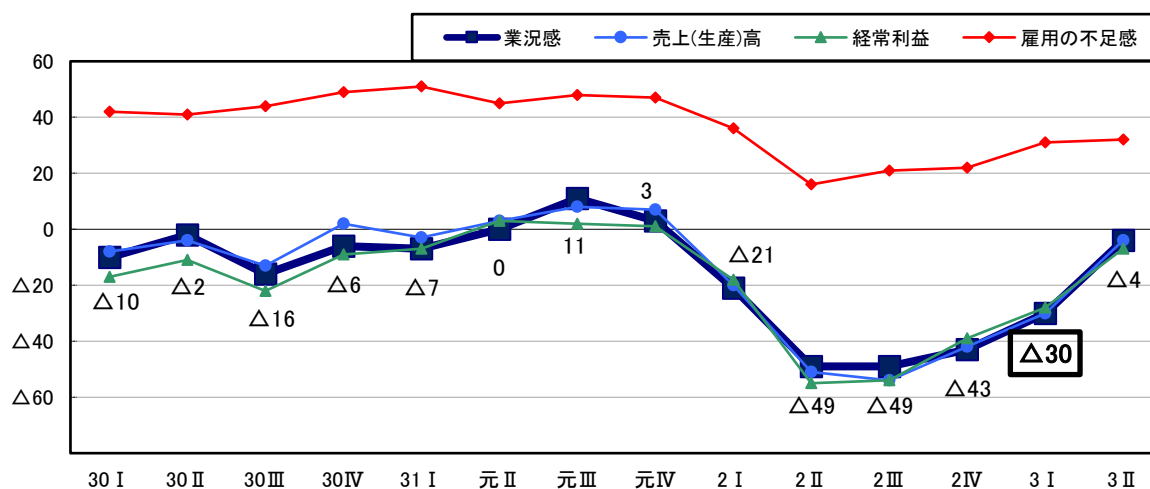
今期の業況感BSIは △30 (前期から13ポイント上昇)

主な上昇業種…印刷・同関連業(▲100→▲50)、飲食料品卸売業(33→100)、
各種商品小売業(▲100→100)、
医薬品・化粧品小売業のその他の小売業(▲50→0)、航空運輸業(▲100→0)、
物品賃貸業(▲100→▲50)、広告業(▲67→100)、宿泊業(▲100→▲50)、
機械等修理業(▲100→▲33)、職業紹介・労働者派遣業(▲100→0)

主な下降業種…汎用機械器具製造業(0→▲100)、電気機械器具製造業(50→0)、
飲食料品小売業(0→▲100)、道路貨物運送業(▲60→▲100)、
自動車整備業(▲50→▲100)

来期の業況感BSIは △4 (今期から26ポイント上昇)

図5-(2)-② 地域別BSIの推移【道央(札幌市)】



(見通し)

表5-(2)-② 地域別BSI【道央(札幌市)】

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 43	12	46	42	△ 30	13	16	0	20	△ 4	26
	建設業	△ 17	11	72	17	△ 6	11	6	83	11	△ 5	1
	製造業	△ 38	10	30	60	△ 50	△ 12	10	60	30	△ 20	30
	卸売・小売業	△ 29	28	48	24	4	33	21	55	24	△ 3	△ 7
	運輸業	△ 62	7	26	67	△ 60	2	20	40	40	△ 20	40
	サービス業	△ 58	6	48	46	△ 40	18	18	72	10	8	48
売上 (生産)高	全産業	△ 42	13	44	43	△ 30	12	18	60	22	△ 4	26
	建設業	△ 22	11	78	11	0	22	17	66	17	0	0
	製造業	△ 31	15	25	60	△ 45	△ 14	10	60	30	△ 20	25
	卸売・小売業	△ 28	31	38	31	0	28	21	50	29	△ 8	△ 8
	運輸業	△ 62	0	27	73	△ 73	△ 11	20	47	33	△ 13	60
	サービス業	△ 55	6	48	46	△ 40	15	20	66	14	6	46
経常利益	全産業	△ 39	15	42	43	△ 28	11	17	59	24	△ 7	21
	建設業	△ 22	11	67	22	△ 11	11	11	61	28	△ 17	△ 6
	製造業	△ 38	10	25	65	△ 55	△ 17	10	65	25	△ 15	40
	卸売・小売業	△ 18	38	34	28	10	28	18	50	32	△ 14	△ 24
	運輸業	△ 54	0	33	67	△ 67	△ 13	20	47	33	△ 13	54
	サービス業	△ 51	10	47	43	△ 33	18	20	66	14	6	39
雇用者の 不足感	全産業	22	39	53	8	31	9	35	62	3	32	1
	建設業	61	59	41	0	59	△ 2	59	41	0	59	0
	製造業	23	35	50	15	20	△ 3	25	65	10	15	△ 5
	卸売・小売業	18	41	52	7	34	16	32	64	4	28	△ 6
	運輸業	54	40	47	13	27	△ 27	40	53	7	33	6
	サービス業	2	33	59	8	25	23	31	69	0	31	6

(3) 道北

今期の業況感BSIは △ 33 (前期から7ポイント上昇)

主な上昇業種…食料品製造業 (▲50→0)、木材・木製品製造業 (▲50→34)、
電子部品・デバイス・電子回路製造業 (▲100→0)、
繊維・衣服等卸売業 (▲100→0)、機械器具小売業 (▲50→0)、倉庫業 (▲50→0)、
警備業のその他の事業サービス業 (▲100→0)

主な下降業種…金属製品製造業 (▲50→▲100)、その他の製造業 (0→▲100)、
娯楽業 (0→▲50)

来期の業況感BSIは △ 25 (今期から8ポイント上昇)

図5-(3) 地域別BSIの推移【道北】

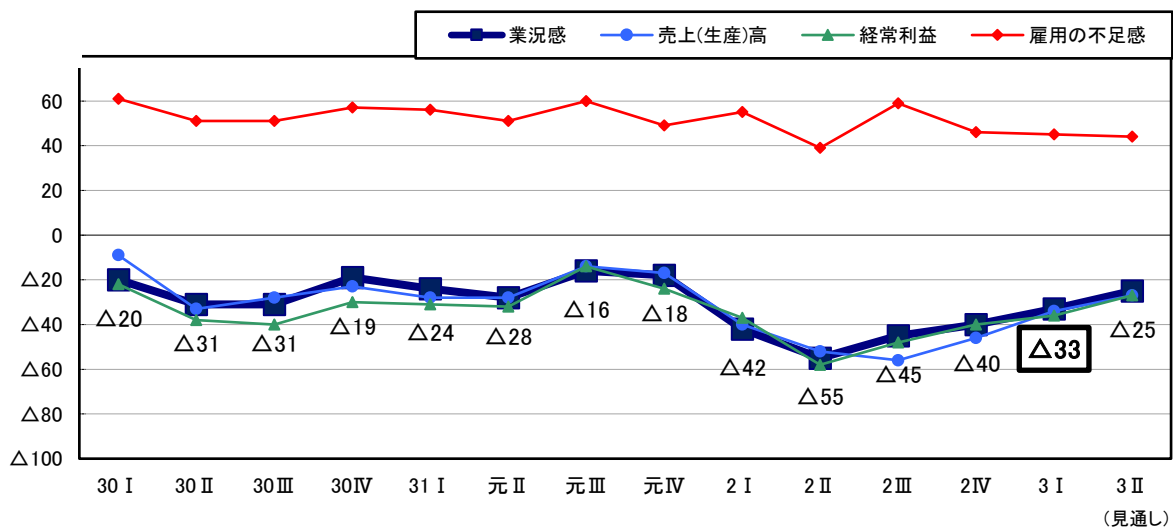


表5-(5) 地域別BSI(道北)

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 40	10	47	43	△ 33	7	9	57	34	△ 25	8
	建設業	△ 13	8	77	15	△ 7	6	0	54	46	△ 46	△ 39
	製造業	△ 54	24	17	59	△ 35	19	18	47	35	△ 17	18
	卸売・小売業	△ 18	14	65	21	△ 7	11	0	86	14	△ 14	△ 7
	運輸業	△ 64	0	50	50	△ 50	14	14	50	36	△ 22	28
	サービス業	△ 42	4	40	56	△ 52	△ 10	8	54	38	△ 30	22
売上 (生産)高	全産業	△ 46	11	44	45	△ 34	12	11	51	38	△ 27	7
	建設業	△ 7	23	62	15	8	15	0	69	31	△ 31	△ 39
	製造業	△ 71	17	22	61	△ 44	27	28	33	39	△ 11	33
	卸売・小売業	△ 33	14	57	29	△ 15	18	0	85	15	△ 15	0
	運輸業	△ 71	0	50	50	△ 50	21	7	57	36	△ 29	21
	サービス業	△ 46	4	42	54	△ 50	△ 4	13	33	54	△ 41	9
経常利益	全産業	△ 40	12	40	48	△ 36	4	12	49	39	△ 27	9
	建設業	0	15	70	15	0	0	0	62	38	△ 38	△ 38
	製造業	△ 72	17	16	67	△ 50	22	28	39	33	△ 5	45
	卸売・小売業	△ 25	14	57	29	△ 15	10	0	85	15	△ 15	0
	運輸業	△ 50	0	36	64	△ 64	△ 14	7	43	50	△ 43	21
	サービス業	△ 48	13	33	54	△ 41	7	17	33	50	△ 33	8
雇用者の 不足感	全産業	46	51	43	6	45	△ 1	46	52	2	44	△ 1
	建設業	80	85	7	8	77	△ 3	85	15	0	85	8
	製造業	57	50	44	6	44	△ 13	44	56	0	44	0
	卸売・小売業	25	31	69	0	31	6	31	69	0	31	0
	運輸業	29	64	36	0	64	35	57	36	7	50	△ 14
	サービス業	38	36	52	12	24	△ 14	28	68	4	24	0

(4) オホーツク

今期の業況感BSIは △ 36 (前期から2ポイント上昇)

主な上昇業種…総合工事業 (▲9→10)、食料品製造業 (▲80→▲67)

窯業・土石製品製造業 (▲100→100)、

自動車小売業の機械器具小売業 (0→25)

主な下降業種…建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (0→▲33)、宿泊業 (▲33→▲100)、
飲食店 (100→▲67)

来期の業況感BSIは △ 27 (今期から9ポイント上昇)

図5-(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

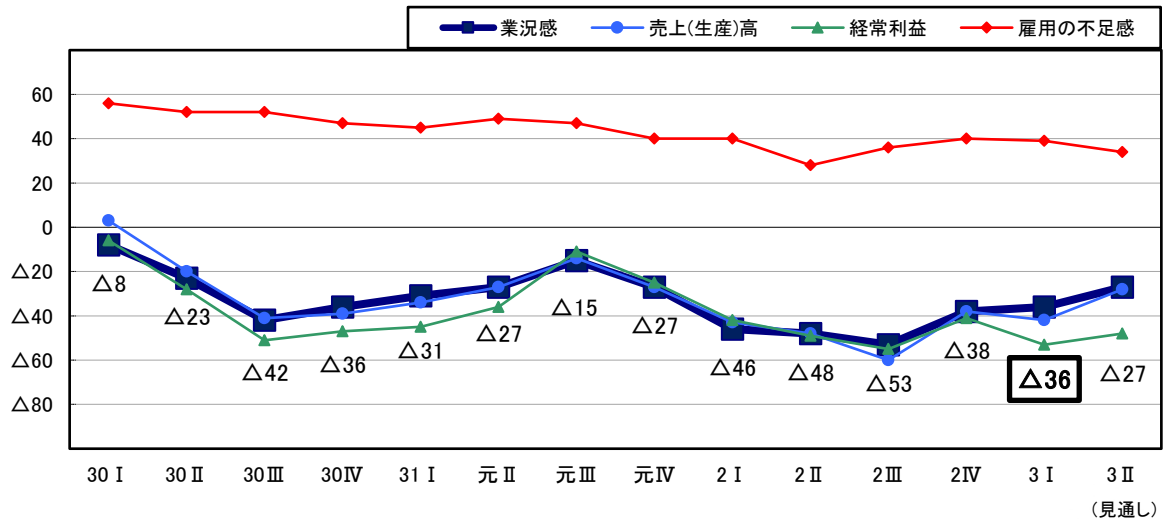


表5-(6) 地域別BSI(オホーツク)

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 38	10	44	46	△ 36	2	11	51	38	△ 27	9
	建設業	0	27	64	9	18	18	9	55	36	△ 27	△ 45
	製造業	△ 64	9	55	36	△ 27	37	9	64	27	△ 18	9
	卸売・小売業	△ 23	15	39	46	△ 31	△ 8	15	39	46	△ 31	0
	運輸業	△ 73	0	25	75	△ 75	△ 2	17	41	42	△ 25	50
	サービス業	△ 36	0	43	57	△ 57	△ 21	7	57	36	△ 29	28
売上 (生産)高	全産業	△ 38	13	32	55	△ 42	△ 4	16	40	44	△ 28	14
	建設業	9	18	55	27	△ 9	△ 18	9	36	55	△ 46	△ 37
	製造業	△ 73	27	37	36	△ 9	64	10	60	30	△ 20	△ 11
	卸売・小売業	△ 23	23	15	62	△ 39	△ 16	23	23	54	△ 31	8
	運輸業	△ 73	0	25	75	△ 75	△ 2	25	33	42	△ 17	58
	サービス業	△ 36	0	33	67	△ 67	△ 31	13	47	40	△ 27	40
経常利益	全産業	△ 41	8	31	61	△ 53	△ 12	8	36	56	△ 48	5
	建設業	9	18	55	27	△ 9	△ 18	0	27	73	△ 73	△ 64
	製造業	△ 55	10	50	40	△ 30	25	0	55	45	△ 45	△ 15
	卸売・小売業	△ 46	15	16	69	△ 54	△ 8	15	23	62	△ 47	7
	運輸業	△ 73	0	17	83	△ 83	△ 10	8	34	58	△ 50	33
	サービス業	△ 46	0	27	73	△ 73	△ 27	13	40	47	△ 34	39
雇用者の 不足感	全産業	40	44	51	5	39	△ 1	39	56	5	34	△ 5
	建設業	58	64	36	0	64	6	45	55	0	45	△ 19
	製造業	36	64	36	0	64	28	55	45	0	55	△ 9
	卸売・小売業	8	23	77	0	23	15	23	77	0	23	0
	運輸業	64	50	50	0	50	△ 14	50	42	8	42	△ 8
	サービス業	36	27	53	20	7	△ 29	27	60	13	14	7

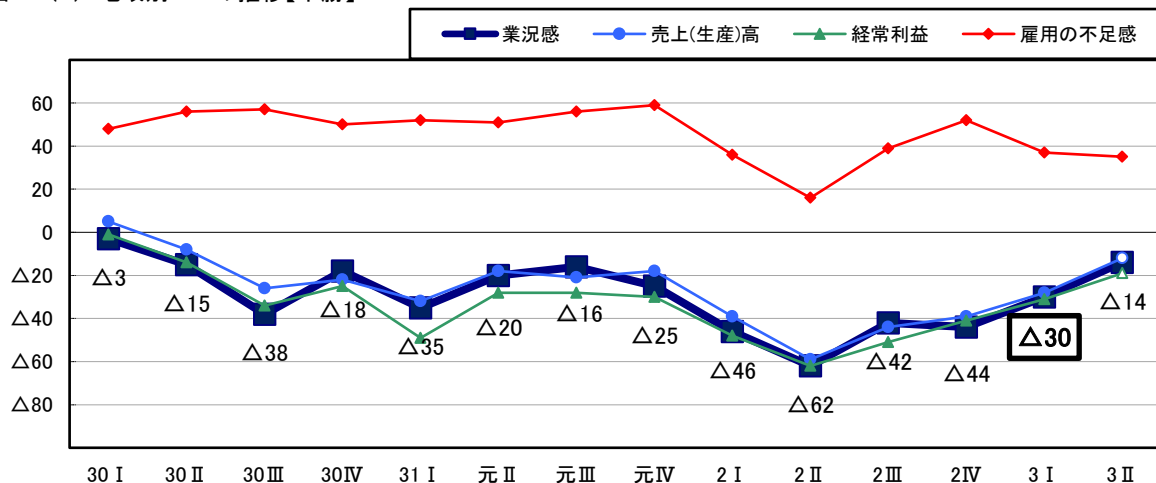
(5) 十勝

今期の業況感BSIは △ 30 (前期から 14 ポイント上昇)

主な上昇業種…総合工事業 (▲67→33)、食料品製造業 (▲100→▲25)、
木材・木製品製造業 (▲100→0)、飲食料品卸売業 (▲67→0)
自動車小売業の機械器具小売業 (0→50)
燃料小売業のその他の小売業 (▲100→▲50)、物品賃貸業 (▲100→▲50)
主な下降業種…金属製品製造業 (▲50→▲100)、生産用機械器具製造業 (▲67→▲100)
技術サービス業 (▲50→▲67)

来期の業況感BSIは △ 14 (16 ポイント上昇)

図5-(5) 地域別BSIの推移【十勝】



(見通し)

表5-(7) 地域別BSI(十勝)

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 44	12	46	42	△ 30	14	15	56	29	△ 14	16
	建設業	△ 9	9	73	18	△ 9	0	18	64	18	0	9
	製造業	△ 83	15	16	69	△ 54	29	17	41	42	△ 25	29
	卸売・小売業	△ 39	27	37	36	△ 9	30	27	55	18	9	18
	運輸業	△ 30	0	75	25	△ 25	5	0	83	17	△ 17	8
	サービス業	△ 53	10	40	50	△ 40	13	15	45	40	△ 25	15
売上 (生産)高	全産業	△ 39	13	46	41	△ 28	11	19	50	31	△ 12	16
	建設業	△ 9	9	73	18	△ 9	0	18	64	18	0	9
	製造業	△ 75	23	15	62	△ 39	36	23	31	46	△ 23	16
	卸売・小売業	△ 23	25	33	42	△ 17	6	33	42	25	8	25
	運輸業	△ 30	0	75	25	△ 25	5	0	58	42	△ 42	△ 17
	サービス業	△ 53	10	40	50	△ 40	13	21	53	26	△ 5	35
経常利益	全産業	△ 41	13	43	44	△ 31	10	15	51	34	△ 19	12
	建設業	△ 9	18	46	36	△ 18	△ 9	9	73	18	△ 9	9
	製造業	△ 83	15	23	62	△ 47	36	15	39	46	△ 31	16
	卸売・小売業	△ 15	25	42	33	△ 8	7	25	50	25	0	8
	運輸業	△ 30	0	67	33	△ 33	△ 3	0	67	33	△ 33	0
	サービス業	△ 60	10	40	50	△ 40	20	21	37	42	△ 21	19
雇用者の 不足感	全産業	52	44	49	7	37	△ 15	39	57	4	35	△ 2
	建設業	82	45	46	9	36	△ 46	45	55	0	45	9
	製造業	25	15	85	0	15	△ 10	15	85	0	15	0
	卸売・小売業	54	67	33	0	67	13	58	42	0	58	△ 9
	運輸業	90	75	17	8	67	△ 23	58	34	8	50	△ 17
	サービス業	27	30	55	15	15	△ 12	26	63	11	15	0

(6) 釧路・根室

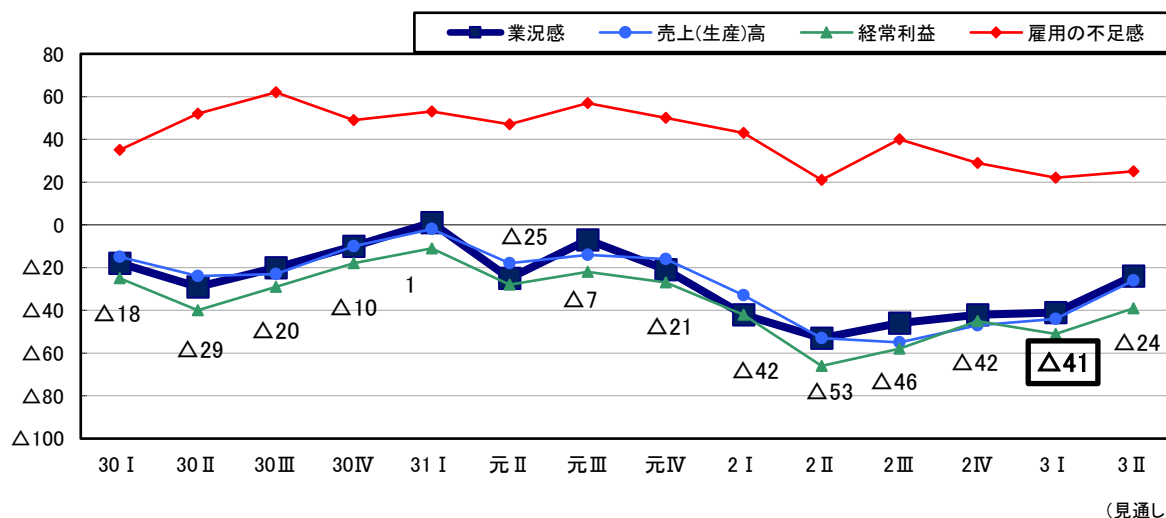
今期の業況感BSIは △ 41 (前期から1ポイント上昇)

主な上昇業種… 建築材料・鉱物・金属材料等卸売業 (▲50→0)、機械器具卸売業 (▲100→100)、
自動車小売業の機械器具小売業 (▲100→▲50)、技術サービス業 (0→50)、
洗濯・理容・美容・浴場業 (▲100→▲50)、自動車整備業 (▲50→0)

主な下降業種… 総合工事業 (▲30→▲50)、輸送用機械器具製造業 (50→▲50)、
水運業 (0→▲100)

来期の業況感BSIは △ 24 (今期から17ポイント上昇)

図5-(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】



(見通し)

表5-(8) 地域別BSI(釧路・根室)

区 分		R2年 10-12月 実績BSI	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 42	10	39	51	△ 41	1	5	66	29	△ 24	17
	建設業	△ 27	0	56	44	△ 44	△ 17	0	56	44	△ 44	0
	製造業	0	17	41	42	△ 25	△ 25	17	66	17	0	25
	卸売・小売業	△ 67	20	30	50	△ 30	37	0	67	33	△ 33	△ 3
	運輸業	△ 45	0	42	58	△ 58	△ 13	0	83	17	△ 17	41
	サービス業	△ 61	13	31	56	△ 43	18	6	56	38	△ 32	11
売上 (生産)高	全産業	△ 47	12	32	56	△ 44	3	8	58	34	△ 26	18
	建設業	△ 46	0	44	56	△ 56	△ 10	0	56	44	△ 44	12
	製造業	0	17	41	42	△ 25	△ 25	17	66	17	0	25
	卸売・小売業	△ 67	20	30	50	△ 30	37	0	60	40	△ 40	△ 10
	運輸業	△ 55	8	25	67	△ 59	△ 4	8	67	25	△ 17	42
	サービス業	△ 61	13	24	63	△ 50	11	13	43	44	△ 31	19
経常利益	全産業	△ 45	8	33	59	△ 51	△ 6	7	47	46	△ 39	12
	建設業	△ 46	0	56	44	△ 44	2	0	44	56	△ 56	△ 12
	製造業	△ 9	8	42	50	△ 42	△ 33	8	59	33	△ 25	17
	卸売・小売業	△ 56	20	30	50	△ 30	26	0	60	40	△ 40	△ 10
	運輸業	△ 36	0	25	75	△ 75	△ 39	8	59	33	△ 25	50
	サービス業	△ 66	13	18	69	△ 56	10	13	24	63	△ 50	6
雇用者の 不足感	全産業	29	31	60	9	22	△ 7	32	61	7	25	3
	建設業	18	22	67	11	11	△ 7	33	67	0	33	22
	製造業	45	25	75	0	25	△ 20	33	67	0	33	8
	卸売・小売業	22	30	60	10	20	△ 2	30	50	20	10	△ 10
	運輸業	18	36	46	18	18	0	33	50	17	16	△ 2
	サービス業	33	38	56	6	32	△ 1	31	69	0	31	△ 1

6 道内の景況感

今期の道内の景況感BSIは△53（前期から6ポイント上昇）

- ・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、運輸業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南でマイナス幅が拡大

来期の道内の景況感BSIは△32（今期から21ポイント上昇）

図6 道内の景況感

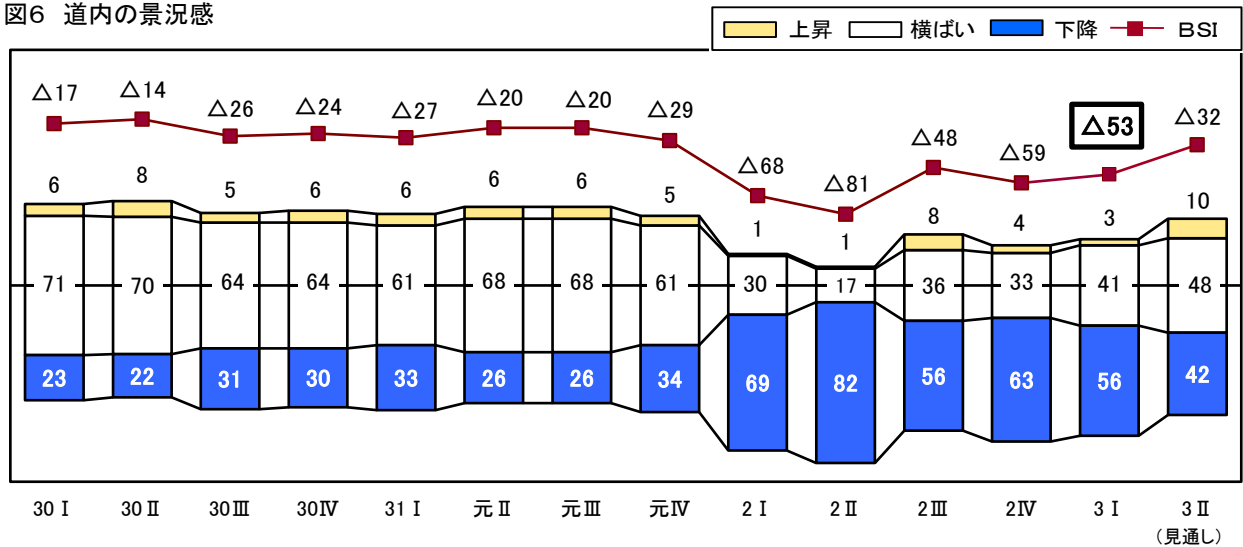


表6 道内の景況感(業種・資本金・地域別)

区 分	R2年 10-12月 実績	R3年1-3月実績					R3年4-6月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計	△ 59	3	41	56	△ 53	6	10	48	42	△ 32	21
札幌市を除く	△ 60	3	40	57	△ 54	6	9	47	44	△ 35	19
札幌市	△ 54	3	46	51	△ 48	6	13	53	34	△ 21	27
業 種											
建設業	△ 53	4	50	46	△ 42	11	9	46	45	△ 36	6
製造業	△ 58	2	40	58	△ 56	2	9	50	41	△ 32	24
卸売・小売業	△ 55	3	46	51	△ 48	7	12	48	40	△ 28	20
運輸業	△ 50	0	39	61	△ 61	△ 11	6	60	34	△ 28	33
サービス業	△ 68	3	37	60	△ 57	11	11	43	46	△ 35	22
資 本 金											
5千万円未満	△ 63	2	39	59	△ 57	6	8	43	49	△ 41	16
5千万以上～1億円未満	△ 55	5	44	51	△ 46	9	13	54	33	△ 20	26
1億円以上	△ 42	4	51	45	△ 41	1	14	67	19	△ 5	36
地 域											
道南	△ 57	1	36	63	△ 62	△ 5	9	47	44	△ 35	27
道央	△ 57	3	45	52	△ 49	8	10	51	39	△ 29	20
札幌市を除く	△ 61	2	44	54	△ 52	9	7	49	44	△ 37	15
札幌市	△ 54	3	46	51	△ 48	6	13	53	34	△ 21	27
道北	△ 60	4	39	57	△ 53	7	10	42	48	△ 38	15
オホーツク	△ 63	2	41	57	△ 55	8	11	42	47	△ 36	19
十勝	△ 59	6	40	54	△ 48	11	13	50	37	△ 24	24
釧路・根室	△ 61	0	39	61	△ 61	0	5	51	44	△ 39	22

7 業種・圏域別企業経営者の声(令和3年1-3月)

【建設業】

道 南	・ 民間工事（下請け）の営業が、若干滞り気味です。（一般土木建築工事業） ・ コロナ感染拡大防止と当面の需要対策を望む。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・ 公共事業を減らさないでほしい。（一般土木建築工事業） ・ 建設工事と ICT の活用を充実させるため、既存の設備等に若干の設備投資を考えています。発注機関には今以上の補助費の増加を願っています。（土木工事業（舗装工事業を除く））
道 央	・ 新型コロナウイルスで先が見えません。歴史に残る感染症と思います。更に、設備の更新には注意が必要と考えます。経営にも二者択一の事案がこれから出てくると思います。経営の体質を再度見直して、改善し、時代の波に乗り遅れることなく、事業を回して行く所存です。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・ 未来に希望を持てる行政を期待しています。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・ 公共工事の増加を期待している。（木造建築工事業） ・ 一日も早いコロナの終息を望む。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・ 厳しい財政状況の中、公共事業予算は一定額が確保されました。引き続き、工事発注量の平準化と事業量の確保を期待しております。（総合建設業）
道 北	・ 発注が入った時に資材等が順調に入ってくるのかが不安。（一般土木建築工事業） ・ 経営全般としては、公共工事量が増加しているので良い方向となると見込む。技術者不足が解消できないので、今後課題が残る。仕事の効率化が重要な鍵となるので、公共投資における仕事の簡素化・効率化などに向けた具体的な対策が必要。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・ 札幌市内と道内全域の人口格差の是正策を期待しています。（木造建築工事業） ・ 人材不足や高齢化の状況から脱却できていない。（土木工事業）
オホーツク	・ 新型コロナウイルスにより地域経済が衰退しているので、地域経済活性化の対策を講じてほしい。（一般土木建築工事業）
十 勝	・ 今後ウイルスが 100% なくなる限り、建設業だけではなく、各業態これから（4～6 月）資金繰りが非常に困難になって行くと思われれます。中には金融機関からこれ以上融資を受けても返済不可能になるため、借入を起こせないといった状況も聞かれます。コロナに伴う給付金及び助成金、またコロナにより民間工事減少が予想されるため、公共工事発注量拡大と工事発注時の入札参加ランクの範囲拡大を行っていただけたらと思います。工事価格のコロナ対策費及び働き方改革に対しての経費率アップを望みます。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・ 担い手不足、高齢化が課題であり、公共工事の減少を懸念している。国土強靱化の予算確保を期待する。（土木工事業（舗装工事業を除く））
釧路・根室	・ 北海道の公共事業の減少により、仕事量が減り、雇用の維持が企業努力だけでは困難な状況になってきている。給付金等、支出が増える一方だろうが、税収入が見込めるとい面もあり、仕事を増やすべき。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・ 公共工事の減少にともなう発注条件の見直しを望む。大手企業に受注が片寄りすぎ。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・ 30～40 代の層が薄く技術の伝承に支障が出ている。定年延長等で人員的には一定数を確保しているが、人件費の高止まりは免れない。（一般土木建築工事業）

【製造業】

道 南	・電気料金値下げによる支援を期待している。(一般製材業) ・人口減少による顧客の減少が課題。同業者との安売り合戦に巻き込まれるおそれがある。(看板・標識機製造業) ・コロナについては、収束に向けてワクチン接種を速めてほしい。近年、北海道沿岸での魚介類の水揚げは年々減少傾向であり、銀行の融資又は制度融資を切に願う。高齢化に伴う加工場作業員の補充が思うように進まない。外国人技能実習生(関連会社)の受入れがコロナの絡みで進まない。経済の復活を願う。(塩干・塩蔵品製造業) ・いか不漁等で原材料の高騰が負担。(水産食料品製造業)
道 央	・コロナが早く収まり通常の状態に戻ることを願っている。(農業用機械製造業(農業用器具を除く)) ・昨年は製品が売れず、在庫が増え資金繰りを圧迫している。第二弾の持続化給付金を早急に実施してもらわないと、今後倒産する企業が増えると思う。(農業用機械製造業(農業用器具を除く)) ・地域社会全体の景気浮上対策を期待したい。(プラスチック・管・継手・容器(ポリエチレン)、シューズパット製造業) ・需要喚起に期待したいです。(紙製容器製造業) ・業種が繊維製品製造業で、販売価格の値上げが非常に困難であるのに対し、人件費及び原材料のコストは年々上昇し、経営は一層厳しさを増している。更に、従業員の高齢化も進む一方、若年者には魅力の無い業態であるためか、採用数も限られ、生産能力は以前よりも落ちている様に思われる。業態維持のためには、若年従業員の確保が課題となっている。(外衣・シャツ製造業(和式を除く)) ・札幌ばかり集中することに対策はないですか。地方の高校生も皆札幌へ行く。これを止めずに地方創生はない。(製材業、木製品製造業) ・雇用調整助成金の延長と需要喚起策を期待している。(電子部品製造業) ・自由闊達に人および物流が行き来出来る方向への転換を求む。(水産食料品製造業) ・可能な限りの感染防止策を講じているが、常に感染を懸念している。一刻も早いワクチン接種の拡充を望みます。(食料品製造業)
道 北	・コロナ禍の終息を待ち望んでいる。(家具製造業) ・ワクチン接種の早期達成により、感染予防と経済が両立することが必要。業務用製品が販売不振となっている。(畜産食料品製造業)
オホーツク	・やはり資金面での援助がほしいです。特に我が社は代表の年齢が高くなっているの、新しい人を雇いたい。そのためにも、資金援助がほしいです。(看板・標識機製造業)
十 勝	・当初はコロナ禍の影響はさほど感じなかったが、昨秋から販売実績面で下降傾向が生じ、年明けから更に大きくなっている。きめ細かな営業活動をすることで少しでもマイナスを減らしたい。(建設用・建築用金属製品製造業(製缶板金業を含む))

【卸売・小売業】

道南	・新型コロナウイルス禍はいつまで続くのか。漁獲の極端な不振は、以前の水準まで戻るのか不安。(塩元売業、一般食料品卸売業) ・早期終息に向けた実行力ある対策。どっちつかずにならないような決断力を期待する。(自動車(新車)小売業) ・とにかくお客様が旅行等で外に出たいと思う気持ちになることが必要。悪いことばかりメディアで流されないようにすることや希望を持てる雰囲気が必要と思う。(婦人・子供服小売業) ・人を呼び込むための函館市の助成金拡充を望む。(建築材料卸売業)
道央	・コロナの感染拡大により、経済は不要不急の移動により成り立っていることを痛感いたしました。普通に移動することができるようにするには、一刻も早くワクチンを接種し、集団免疫を作ることが必要であります。何卒宜しく願いいたします。(燃料小売業) ・毎日が不安です。(農畜産物・水産物卸売業) ・消費マインドの低下による需要の減少が心配。補助金などの発行による消費者の需要に期待する。(建築材料卸売業) ・当社のような中小企業でも、社員が定着できる環境整備、魅力ある事業展開ができるような社会環境に期待。また、その期待に応えることができる店づくりが必要と思います。例えば、人の努力や人件費に対価を感じ、その対価に心で期待に応えることができる社会性。(機械器具小売業(自動車、自転車を除く)) ・国民に提唱ばかり頂くよりも、長いスパンで災害対策、感染症対策を行ってほしい。税を納付しても信頼感がないので、自分達で頑張るしかないのかと思ってしまう。(建築材料卸売業、土木建築材料卸売業) ・約20年前から産学共同で、北海道発の革新的技術開発、主に、CO2の削減また有害重金属の除去などの環境技術を当社の中核事業にすべく実証試験をして来た。当社の資金力では限界があり、行政には有力な企業や団体との橋渡しを希望している。(衣服卸売業) ・テレワーク導入における購入機材に使える補助金や助成金を拡充してほしい。前回の北海道のテレワーク導入支援補助金の利用を考えていたが、4ヶ月の募集期間に対し15日で終了してしまったので使うことが出来なかったし、コロナ禍のテレワーク需要に対する予算規模が少なかったように感じている。(菓子・パン小売業) ・とにかくにも小規模調剤薬局に対する支援がなさすぎる。(医薬品・化粧品小売業) ・とにかくこれ以上長引けば、廃業せざるを得ない。(婦人・日用雑貨小売業、紳士服洋品) ・国、道共に新規の情報発信、説明があまりにも不誠実で、全国民が一体何をどうすべきか方向性が見えない。今は一刻も早いコロナの終息を願うのみ。ワクチンに大いに期待している。(医薬品・化粧品小売業) ・先行き不透明感がある。(電気機械器具卸売業) ・コロナ後を見据えた政策を発表し、需要喚起と安心感を協力で発信してほしい。(衣服卸売業)
道北	・減税を望む。(建築材料卸売業) ・消費者が暇なのか、購入予定もないのに店に入ってくる。若者がデートで入ってくる。こちらとしてはコロナが恐ろしいので、冷やかしの人は入ってこないでほしい。(家具・建具・畳小売業) ・お陰様で、「道牛肉学校給食推進事業」により、平年並みの売上を確保しましたが、本年度はそれもなくなり、逆に牛肉枝相場の高止まりしており、少し不安ではあります。19年度の店舗移転により客単価が上がり、不振の卸を補いつつあります。当社も知恵を出し、乗り越えて参りたい。(飲食料品卸売業)
オホーツク	・一刻も早くワクチン導入をお願いしたい。先進国の中で一番遅い!! こんな日本だったのかとがっかりする。行政はこの一年間何をしていたのか、大いに疑問である。(金物小売業)

オホーツク	・経営状況は良いとは言えませんが、前を見て経営をしていくしかありません。日本にとっても北海道の農産物は、大事な役割をしていると思います。一次加工を経営しているのは近郊で当社のみなので、食品会社と協力しながらやっていきたいと思います。(野菜・青果卸売業)
十勝	・判断力、決断力、責任感に欠ける行政に何を期待すれば良いのか。(建築材製造販売業) ・自動車整備士の不足が課題。学校・養成所等の増設・増員をお願いしたい。(自動車(新車)小売業) ・燃料小売業なので、やはりお客様に出かけていただいて燃料が販売できますので、GoToキャンペーン等を最初は地域を区切って徐々に拡大をしていただければいいと思います。(ガソリンスタンド)
釧路・根室	・新型コロナウイルス感染症拡大防止策の強化 それに伴う支援の強化をお願いする。(自動車小売業、自動車整備業)

【運輸業】

道南	・早くコロナウイルスの感染が収まり、通常通りの商売に戻ればと願うばかりです。(内陸水運業) ・観光・飲食業は、非常に経営が厳しくなっている。一刻も早い新型コロナウイルス感染拡大の終息と、当面、都道府県内だけの人の移動が認められるよう切望します。(倉庫業) ・コロナ禍による仕事量の減少に直面している。(一般貨物自動車運送業) ・持続化給付金等の支援の継続及び要件緩和、従業員の感染防止対策に対する支援やリモートワーク、WEB会議システム導入支援など、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に対応した支援の充実強化を求めます。(鉄道業)
道央	・軽油の価格がじわじわと上昇しているので、かなりの負担になっている。価格や軽油税の引き下げなど、物流関連会社に対して優遇措置をしてほしい。(一般貨物自動車運送業) ・出口が見えない状況の中、手探りの経営が続いています。ワクチン接種の普及を急ぎ、少しでも経済の動きを活性化していただきたいと思います。(一般乗用旅客自動車運送業) ・新型コロナウイルスの影響により、売上が減少し、大変苦しい経営になっている上に、軽油等経費の値上がりで資金繰りが困難になっています。早急の需要喚起を切望します。(一般貨物自動車運送業) ・外国人観光客の受け入れを再開していただきたい。(道路旅客運送業) ・DX、AI導入を迅速に推進して、激動の社会を最大多数の最大幸福へ上手く導いてください。(一般貨物自動車運送業) ・会社から従業員への給与支給にも限界がある一方で、生活に困窮する従業員も少なからずおります。やはり、国なり道が一定水準に満たない道民への生活支援金等のサポートが必要と感じます。コロナ禍が長期化する中で、直接日々の生活に直結した支援施策を速やかに講じる必要があると感じています。(倉庫業) ・国には期待出来ないので、自社で事業の転換などで従業員を守りたい。(一般貨物旅客自動車運送業)
道北	・最近の燃料高騰で影響を受けている。4月以降の推移に期待。(一般貨物自動車運送業)
オホーツク	・タクシー業の不振について、行政に期待できる事案が思いつかない。(一般乗用旅客自動車運送業) ・コロナウイルス感染症に対するワクチンの早期接種による景気回復及び社員の生活支援の助成金交付を期待している。(一般乗用旅客自動車運送業)

オホーツク	・トラック輸送が国民生活や産業経済を支えている現状を踏まえ、安全に走行できる道路環境の維持管理の更なる徹底、事業用車両更新に対する幅広い支援策の創設、若い世代が興味を持つようなトラック業界をイメージアップする戦略の実施を期待している。（一般貨物自動車運送業） ・都会への支援も必要かもしれないが、もっと田舎に目を向けていただきたい。（一般乗用旅客自動車運送業） ・今はコロナウイルスが終息することを願うばかりです。（一般貸切旅客自動車運送業）
十勝	・燃料費が上昇しているので不安。（一般貨物自動車運送業） ・コロナ収束に尽きる。（一般乗用旅客自動車運送業）
釧路・根室	・運送業での残業時間の猶予期間が迫ってきているが、その対応への取組がなかなか出来ない。再度の延長を業界全体として求めて行かなくてはと思います。（一般貨物自動車運送業） ・コロナ感染予防のための自粛期間において、飲食店との繋がりで人の流れが止まっている。利用者が減少している状況で、我々業界に行政側から支援策がありましたら、よろしくお願いいたします。（一般乗用旅客自動車運送業） ・万年、恒常的に人材が不足しています。（一般貨物自動車運送業）

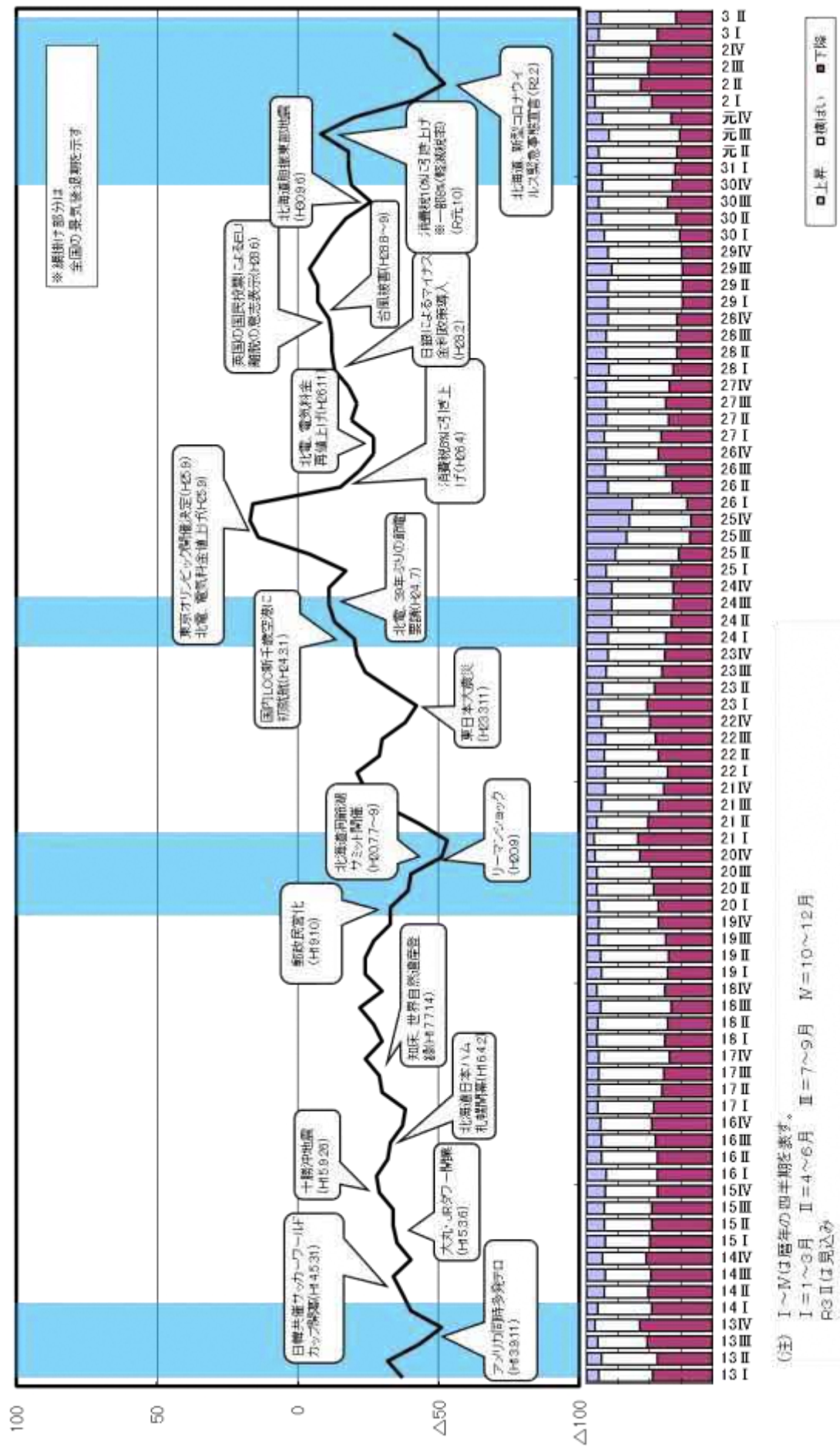
【サービス業】

道南	・今期、前期と前年割れをしており、今後の課題として、新規顧客獲得の営業等の努力と、販促の強化が必至の状況が続いており、地方の企業誘致、人口の増加対策を期待しております。海と鉄道に恵まれた地区であり、気候も良く、今後の活性化を自治体に望みます。山脈も多く、平野も余っており、自衛隊等の強化も期待しています。（電気通信に附帯するサービス業） ・コロナの影響により財源の悪化等の影響が出て、公共投資に対する投資配分に影響が出てくる可能性について多少の不安がある。（測量業） ・持続化給付金の再支給を望みます。（旅館・ホテル） ・当店の来客は80%以上が観光客、その内40%程度が外国人でした。人の移動がなければ、売上もないが、人が移動すると感染が拡大するので、先行きが見えない。（食堂、レストラン（専門料理店を除く）） ・新型コロナウイルスの収束に尽きる。（タワー搭乗、土産品等小売業） ・ワクチン接種及びGOTO再度開始、どうみん割開始を望みます。（旅館、ホテル） ・雇用調整助成金の更なる延長を希望します。（旅館、ホテル）
道央	・コロナウイルス感染症対策として、社員を休職させた場合の助成金を利用できると社員を休ませやすい。現状は有給がない社員については休みたがらない傾向にあるため。一部でも助成があれば本人も休みやすいと思う。病院等で休業指示があった場合などの条件があってもいい。（警備業） ・経営は非常に悪化しております。営業転換、新商品など色々行っているのですが、即戦力とはいかず、このままだと会社が持ちません。（配達飲食サービス業） ・飲食業界以外でも苦しい所はあります。平等な支援を望む。（一般公衆浴場業） ・ススキノ地区を名指しで批判するのはやめてほしい。（専門料理店） ・今新幹線の工事中ですが、完成する時には私の周りは亡くなって、乗車する人は少なくなると思います。もっと身近な足になる路線がほしいです。私は、喫茶店を50年近く営業しておりますが、50年間皆様に支えられてきましたので、これからは北海道や小樽のために何か残したいと思っています。（喫茶店） ・コロナの早期収束を願っている。（その他の洗濯・理容・美容・浴場業） ・切れ目ない公共事業の拡大を切に願います。（測量業）

道央	・ 来期、新工場（新築）移転予定。（機械修理業（電気機械器具を除く）） ・ 助成金関係の申請から入金まで早い対応を望みます。小学校のご家族が多い職場ですので、休みになると子供の面倒が見られない。何とか施設を作ってほしい。（自動車整備業） ・ 早くワクチンが行き渡り、平常通りの生活が送れるようになり、観光業等が復活するための支援等を願います。（自動車整備業） ・ ホテル・旅館は固定費の割合が大きく、ここのところ赤字続きです。この固定費への助成補助があるとありがたいです。（旅館、ホテル） ・ 求職中の人が多いと聞く反面、弊社の様に人員不足に困っている会社もある。（土木設計業） ・ 人手不足による経営難に直面している。（自動車整備業） ・ 不安を煽り過ぎない的確な情報の発信・提供を望む。（旅行業） ・ 苦しい。（旅館、ホテル） ・ 期待のもてる行政運営をしてほしい。（旅館、ホテル） ・ 感染症対策に関する設備投資などを促し、いち早く北海道の経済・人が動き出すような働きかけをお願いします。（産業用機械器具賃貸業） ・ 取引先の業績悪化に伴い、プロジェクトの中断等が発生している。業績が悪化している業種・業界等に対する支援策を強化することで、道内市場全体の景気悪化を抑制してほしい。（情報処理サービス業、ソフトウェア業） ・ コロナ禍により経済活動が萎縮しています。企業活動も営業活動としては抑え気味なので、まずコロナをコントロールできる状況をつくり出すことが最優先ではないかと考えます。（産業廃棄物処理業） ・ 自粛は科学的、数値的根拠に基づいて行うことが必要。１年経過し、実際に因果関係のない自粛を行うことは、道内経済に対する悪影響が余りに大きすぎる。（情報処理サービス業）
道北	・ ブライダルＧोटオお願いします。（冠婚葬祭業） ・ 宿泊客が主にビジネス客なので、仕事があればお客様は来ます。が、小さなホテルなのでコロナ対策も出来ることが限られてきます。共用部分に空気清浄機設置・加湿器設置、アルコール消毒と検温、マスク着用をお願いしていますが、最近はマスク着用をしない方も増えてきたように感じています。飲みに行く方も時折見受けられます。田舎なので病院も少ないため、たまに熱のあるお客様が来館すると、とても不安になります。皆さん感じていることでしょうか、ワクチン接種が全員にいきわたるなどで安心してお出迎え出来る日がくることを待ち遠しく感じます。（旅館・ホテル） ・ サービス業として、地域経済の活性化に期待します。（自動車整備業）
オホーツク	・ 後継者がいない。（獣医業） ・ 事業承継の問題を抱えている。（自動車整備業） ・ Ｇोटオがどうなるか注視している。（専門料理店（日本料理店）） ・ 例えば、ＰＣＲ検査数、ワクチンの入荷状況、超過死亡数等の情報をオープンにしてほしい。また、公共料金や諸税の減免を望む。特に我々の業界では固定資産税が大きな負担になっている。既存負債の金利減額と償還猶予を期待する。（旅館・ホテル） ・ 一次産業主体の北海道では、輸送を考慮するとインフラ整備の拡充が必要と思う。（技術サービス業（他に分類されないもの）） ・ 利用者数の増加に伴う感染の心配がある。安定した利用者数で稼働できるよう体制を整備している。（旅館、ホテル） ・ とにかく、観光関連の被害は甚大で、普通の援助では早晩廃業する企業が多発することを懸念している。需要喚起にとどまらず、税の免除、消防設備、建築物等検査維持費用の助成、コスト削減システム、生産性の向上に寄与する補助等々、一歩も二歩も踏み込んで施策を打つことを期待しています。（旅館・ホテル）

十 勝	・旅館・ホテルは人が動かないことには成り立たない。皆が安心して仕事やレジャーに出かけられる日が早く訪れるよう融資を受けた中で待ち祈っています。(旅館, ホテル) ・弊社の売上は公共工事受注が過半を占めるので、広義の景気対策となる公共工事発注の水準維持を強く期待しております。(土木建築サービス業 (建築設計業)) ・売上が平年比 50~80%減少の状況が、後 1 年も続くと経営が成り立たない。(旅館・ホテル)
釧路・根室	・何かとキツイ事が多すぎる。様々な対策の対象にならないため、マイナス要因になっている。(美容業) ・電気料金のように公共性のあるものに対しての減免が不足していると感じる。(旅館, ホテル) ・この先の生活の見込みがない。(旅館, ホテル) ・いち早い新型コロナウイルスの収束を願います。しかしながら、現状ワクチンが全体に行き渡り、今までの自粛する生活スタイルが通常に戻るまでには、来期 1 年以上かかるのではと見ています。来期は多少ながら売上・収支が戻ることを期待して事業を継続して参りたいと思います。(専門料理店) ・技術職員の年齢構成バランスに大きな影響が出ており、30 代から 40 代の中堅技術者が極端に少ない状況にある。技術の継承のために地元高校新卒者の雇用を進めてはいるものの、工学系大卒者等の求人に苦慮している。マイナビサイトを活用し、札幌市での就職説明会に参加する等の活動をしているが、地方の会社への興味や卒業後に地元に戻りたい学生が少ない状況である。その辺のバックアップを行政に望みたい。(土木建築サービス業)

8 業況感の長期推移

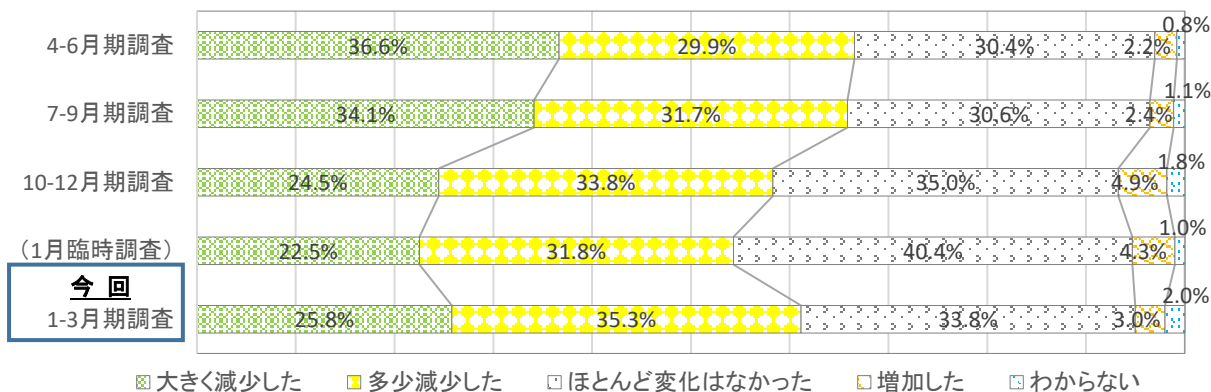


3 特別調査

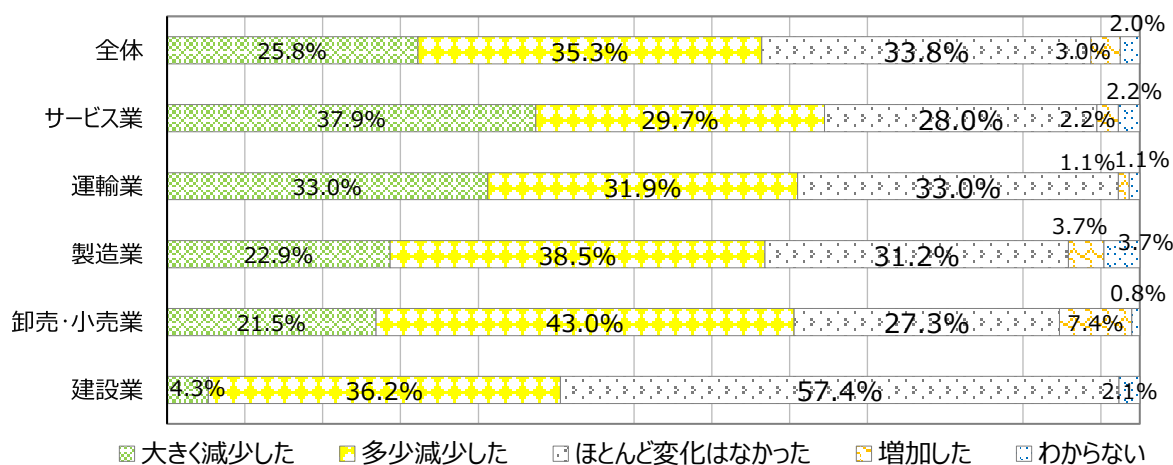
1 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大による本年1－3月における売上・利益等への影響の程度

- ・売上・利益等への影響については、全体では「大きく減少した」が25.8%、「多少減少した」が35.3%と、合わせて61.1%の企業が「減少した」と回答しており、1月に実施した臨時調査より悪化している。

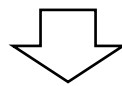
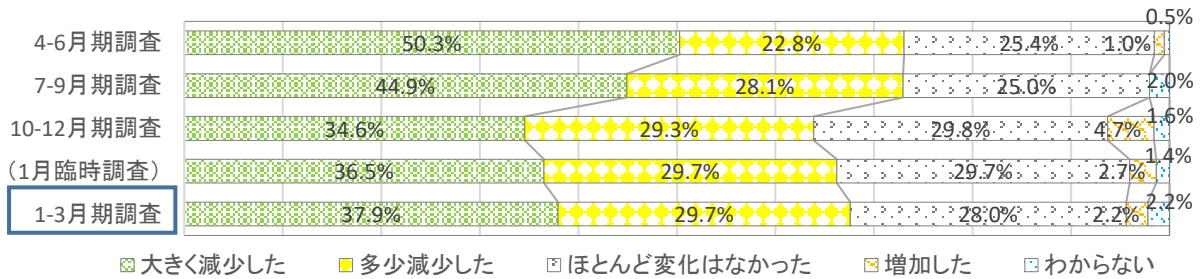


- ・業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合はサービス業で37.9%と最も大きく、次いで運輸業が33.0%となっており、建設業が4.3%と最も小さくなっている。



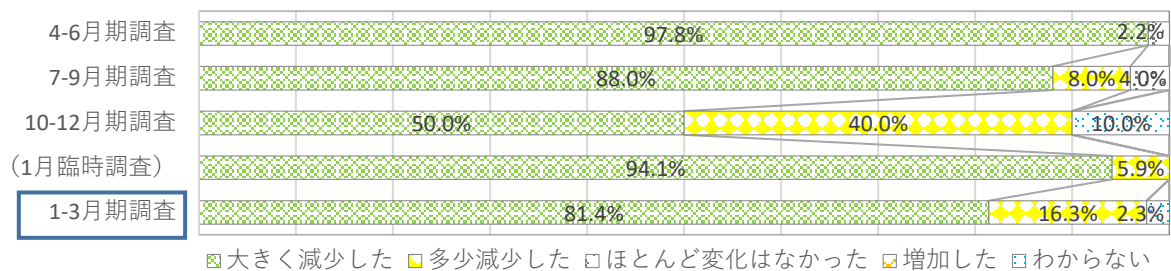
- ・ 1月の臨時調査との比較では、卸売・小売業を除く業種で悪化しており、製造業で「大きく減少した」が2.9ポイント悪化しているほか、建設業でも「多少」を含む「減少した」が16.3ポイント悪化した。
- ・ また、サービス業のうち、特に宿泊・旅行業や飲食業は、「大きく減少した」の割合が引き続き極めて大きくなっている。

サービス業

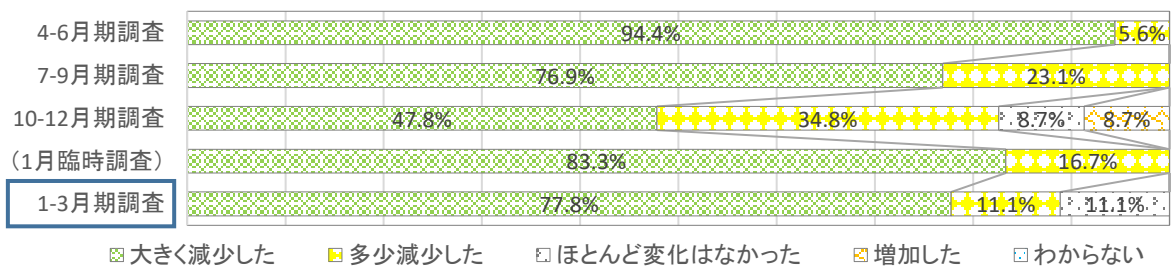


(サービス業のうち)

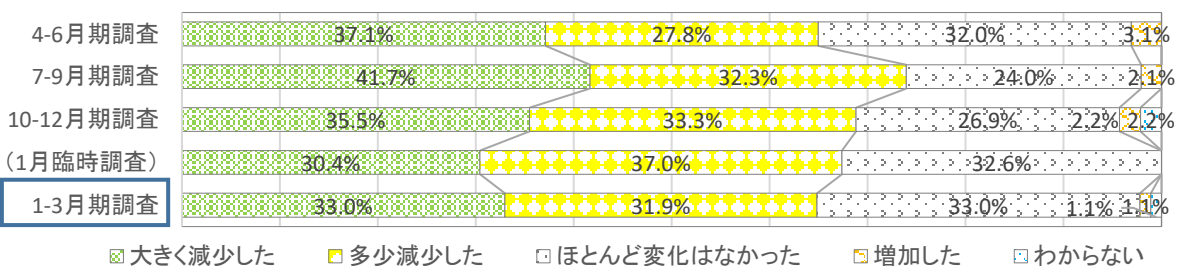
宿泊・旅行業



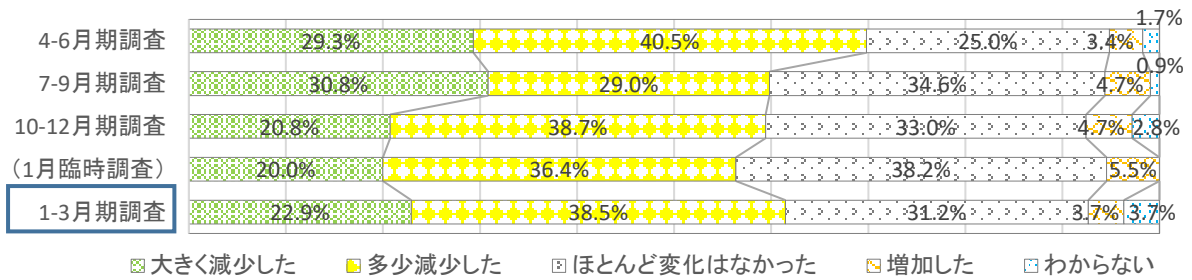
飲食業



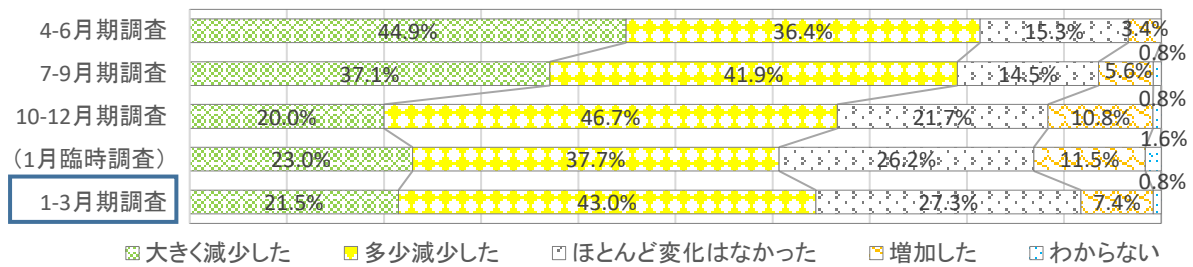
運輸業



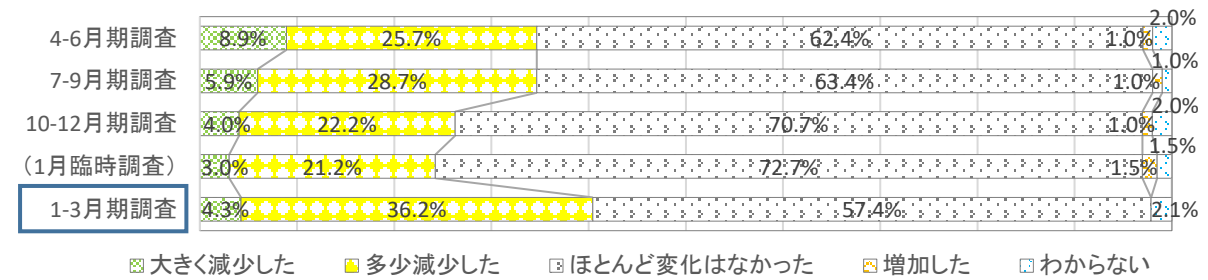
製造業



卸売・小売業

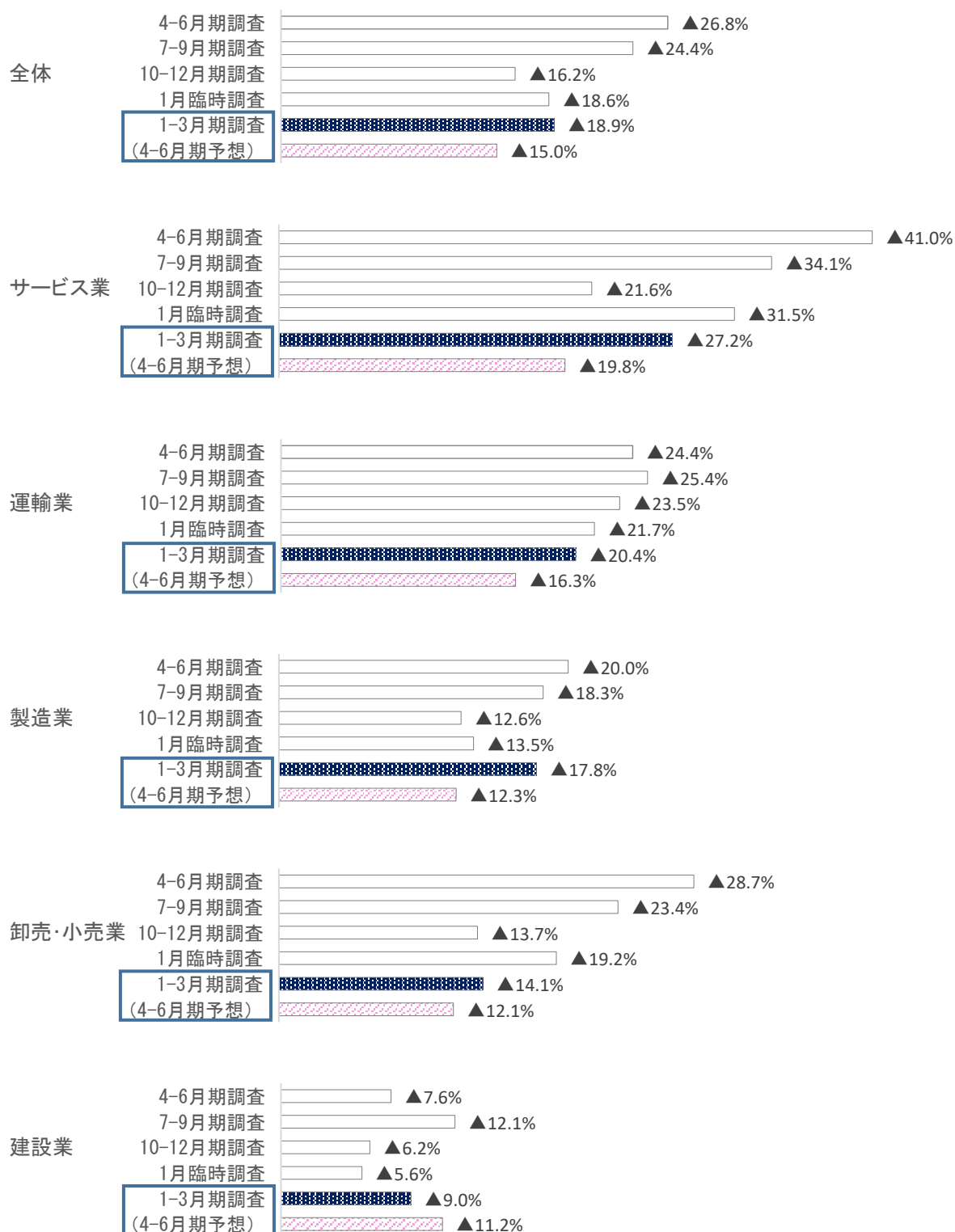


建設業



(2) 令和3年の1－3月における売上の前年同期比減少率

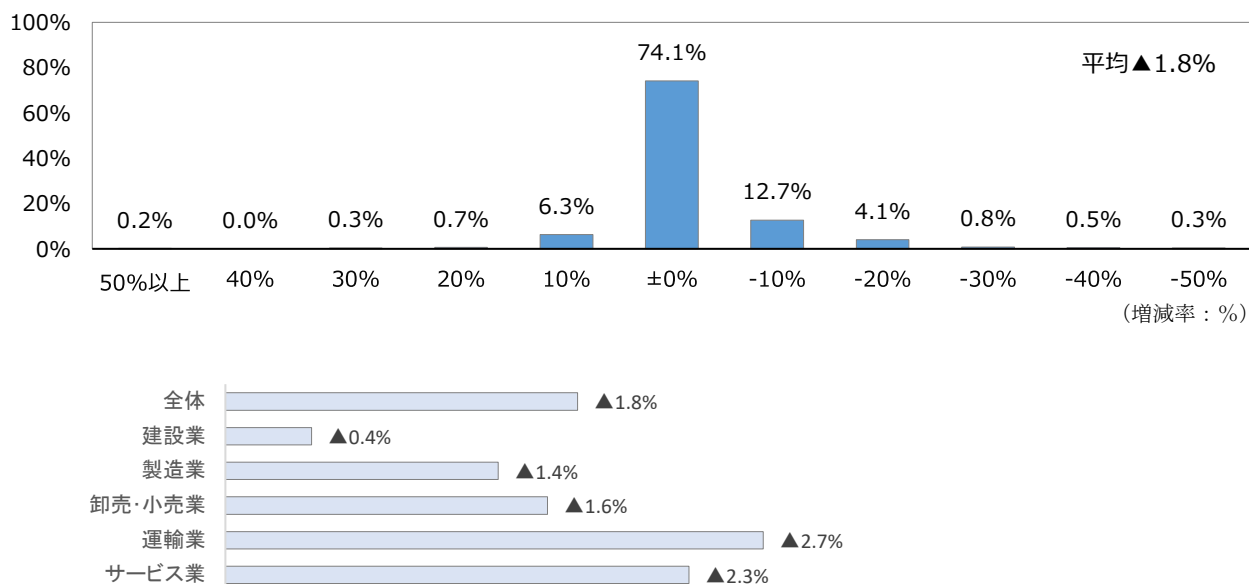
- ・ 令和3年1－3月の売上の前年同期比増減率は、全体平均では▲18.9%で、業種別では、サービス業が▲27.2%と最も減少率が大きく、次いで運輸業が▲20.4%となっている。1月の臨時調査との比較では、サービス業、運輸業、卸売・小売業で改善しているものの、製造業と建設業で悪化しており、全体で0.3ポイントの悪化となっている。
- ・ 4－6月期の予想は、全体として改善傾向にあるものの、建設業で▲11.2%と2.2ポイント悪化している。



(3) 正規及び非正規従業員の前年同期比減少率

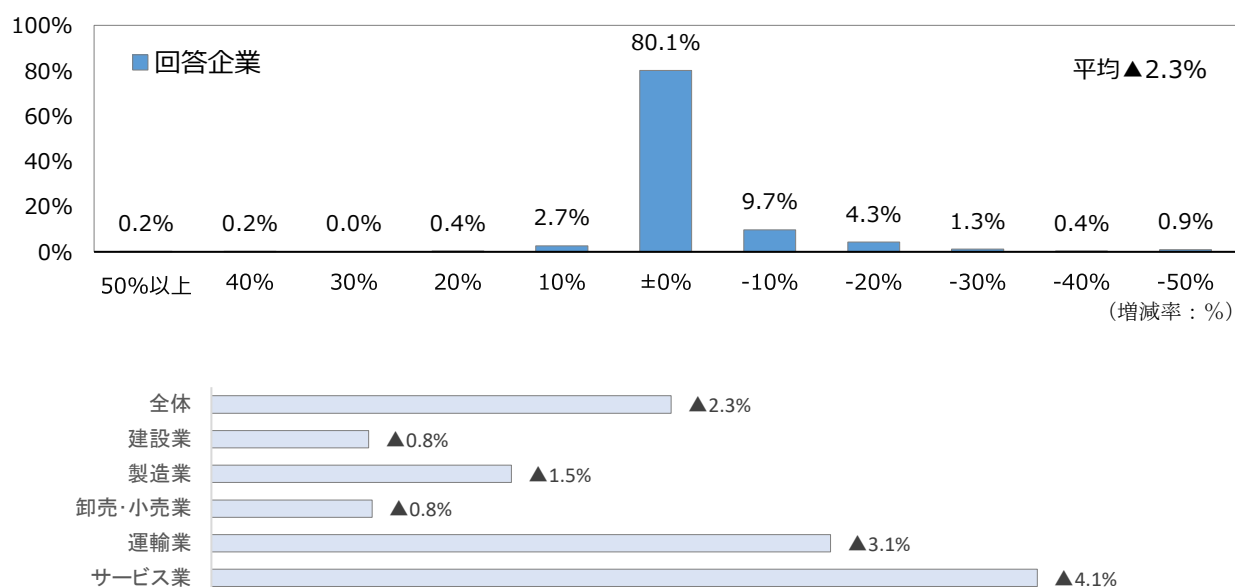
① 正規従業員

- ・ 正規従業員数（有給役員、正社員・正職員）の前年同時期（令和2年1－3月期）と比較した増減は、74.1%の企業が増減なしだったものの、全体の平均増減率は▲1.8%となっている。
- ・ 業種別では、運輸業の減少率が▲2.7%と最も大きく、次いでサービス業が▲2.3%となっている。



② 非正規従業員

- ・ 非正規従業員数（パート、アルバイト、契約社員）の前年同時期と比較した増減は、80.1%の企業が増減なしだったものの、全体の平均増減率は▲2.3%となっている。
- ・ 業種別では、サービス業の減少率が▲4.1%と最も大きくなっている。

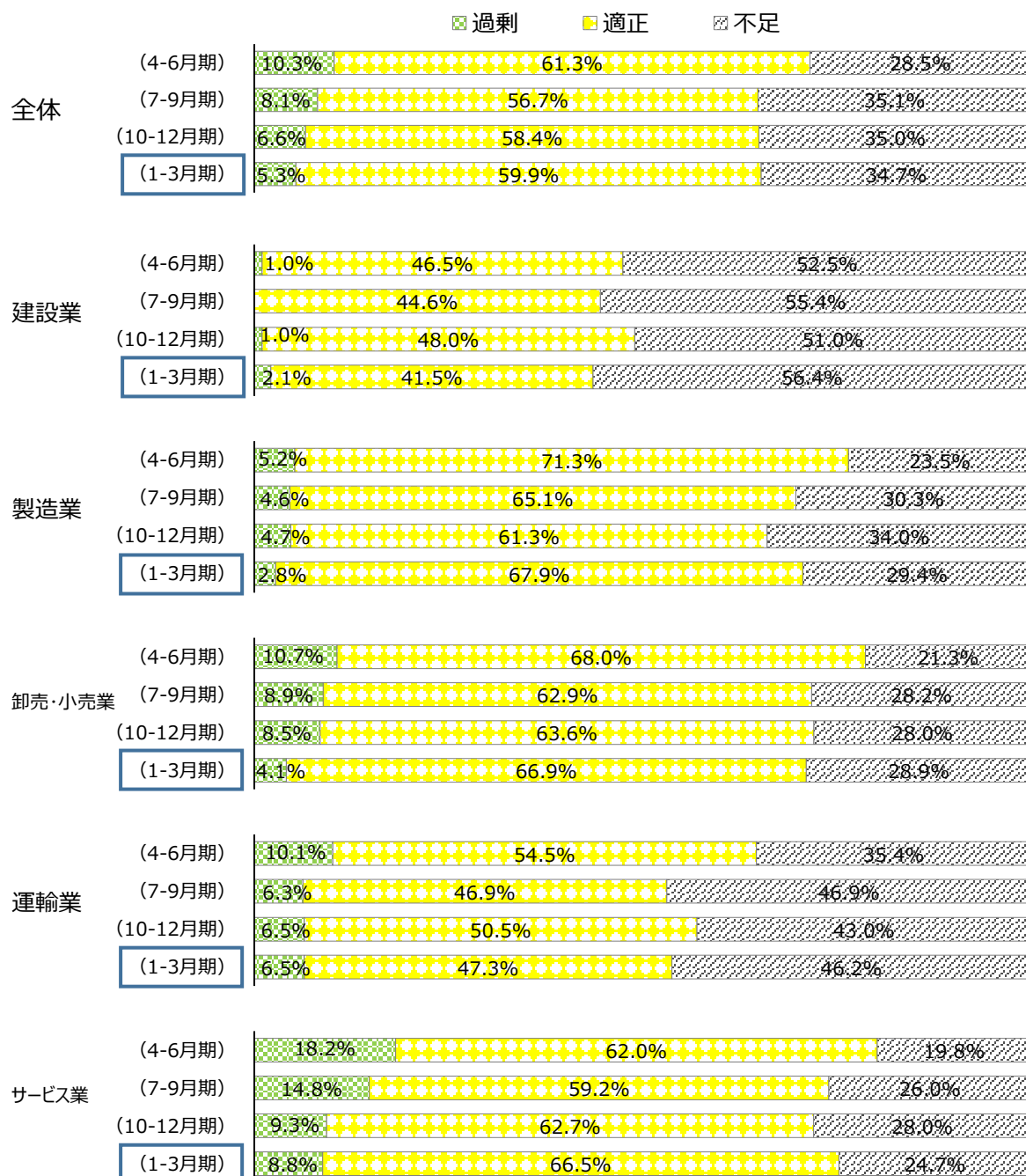


(4) 正規及び非正規従業員の過不足感

① 正規従業員

- ・ 正規従業員については、全体では「過剰」が5.3%、「適正」が59.9%、「不足」が34.7%となっており、不足感が過剰感を上回っている。
- ・ 業種別でも、全ての業種で「不足」が「過剰」を上回っている。

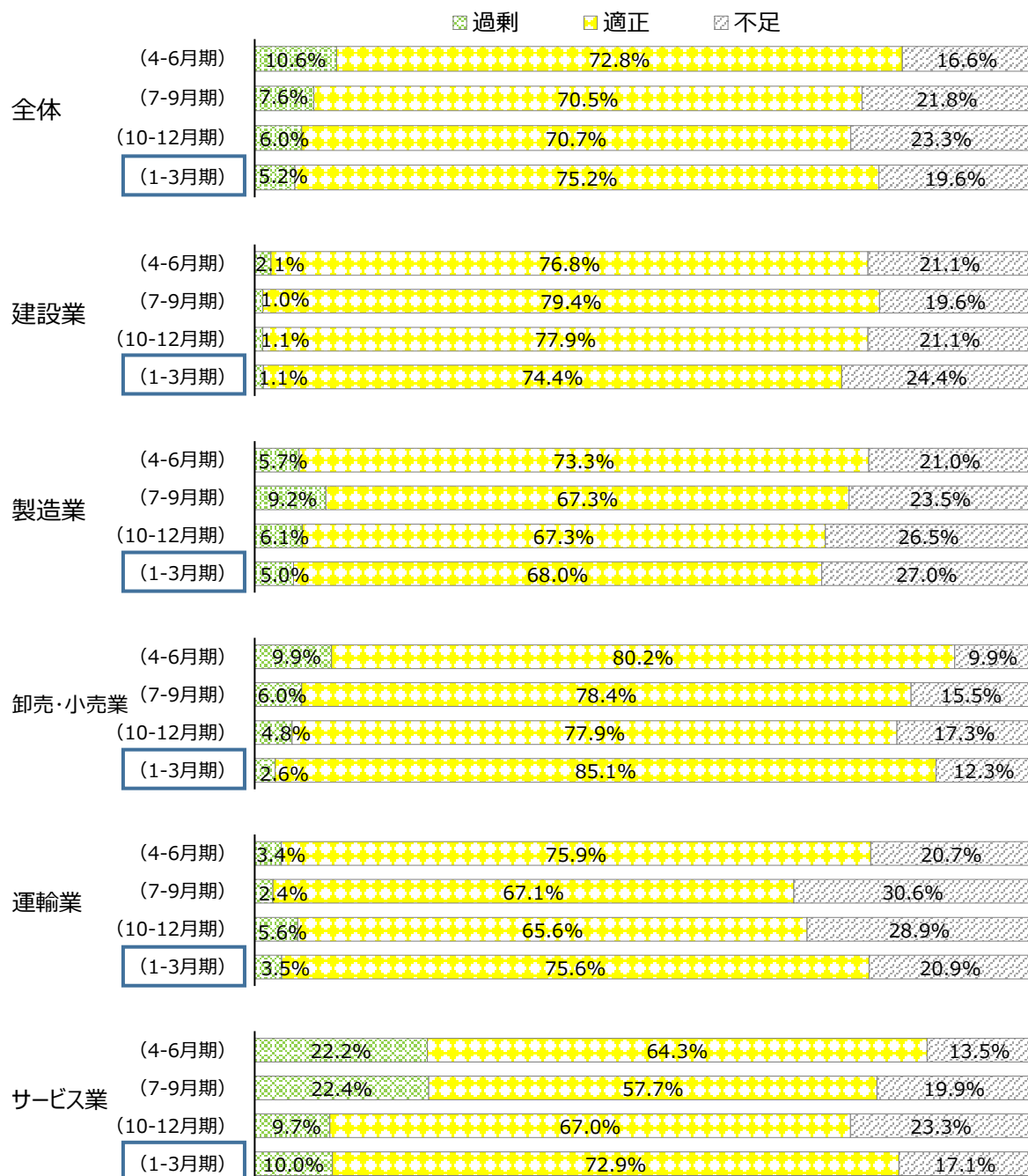
正規従業員



②非正規従業員

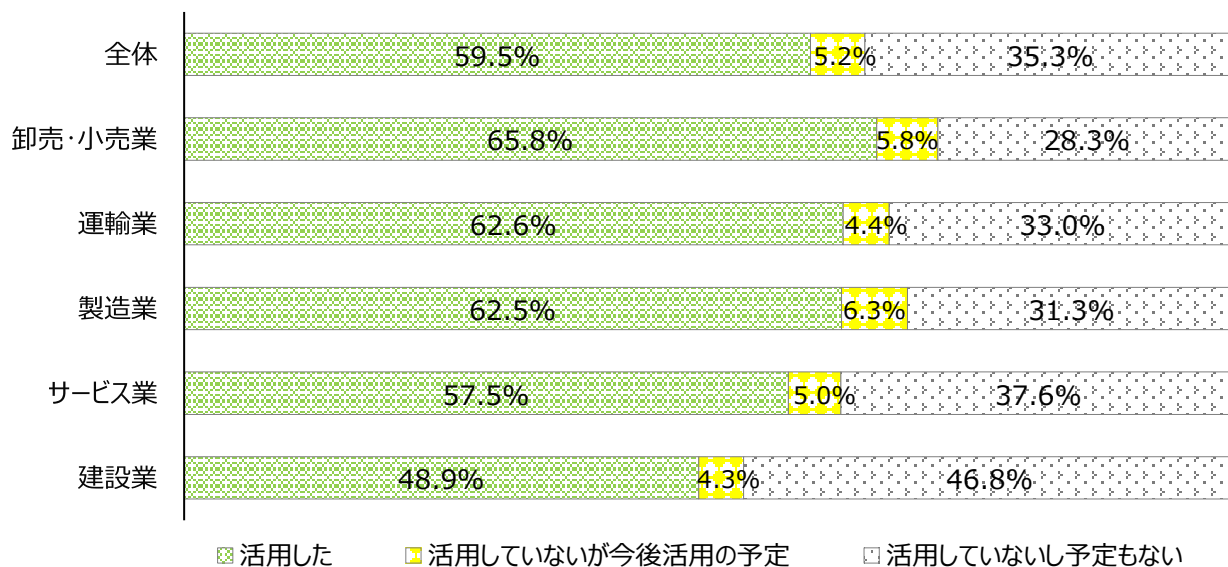
- ・非正規従業員については、全体では「過剰」が5.2%で、「適正」が75.2%、「不足」が19.6%となっており、不足感が過剰感を上回っている。
- ・業種別でも、全ての業種で「不足」が「過剰」を上回っており、「不足」は製造業で27.0%と最も大きくなっている。

非正規従業員

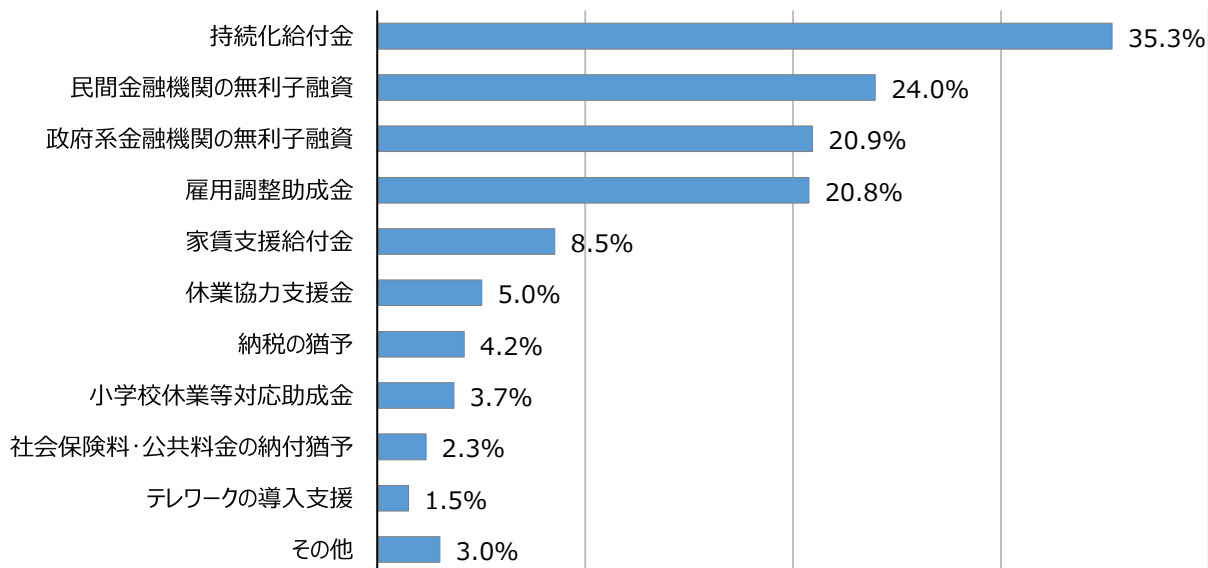


(5) 国、道等の助成制度を活用したか（予定を含む）

- ・国、道等による助成制度の活用状況については、「活用した」は全体で 59.5%、「今後活用の予定」が 5.2%、「活用していないし予定もない」が 35.3%となっている。
- ・業種別では、「活用した」と回答した企業の割合は、卸売・小売業が 65.8%と最も高く、次いで運輸業が 62.6%、製造業が 62.5%となっている。

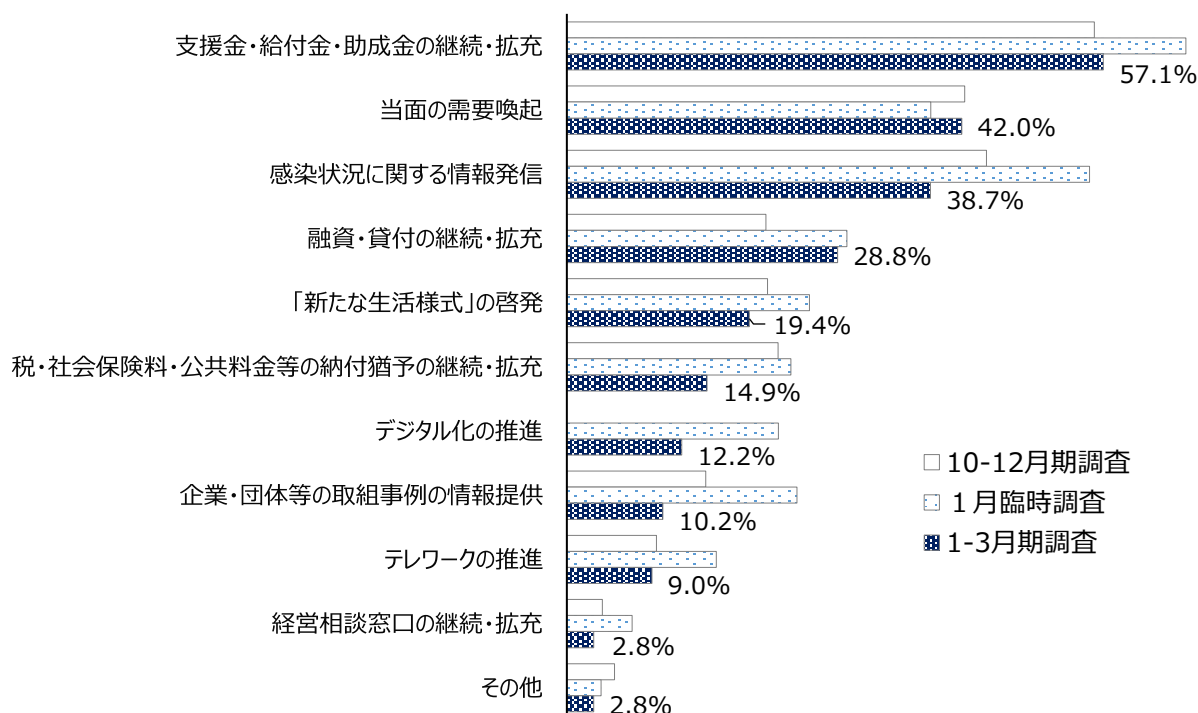


- ・活用した助成制度のうち最も多かったものは「持続化給付金」の 35.3%で、次いで「民間金融機関の無利子融資」が 24.0%、「政府系金融機関の無利子融資」が 20.9%となっている。（複数回答）



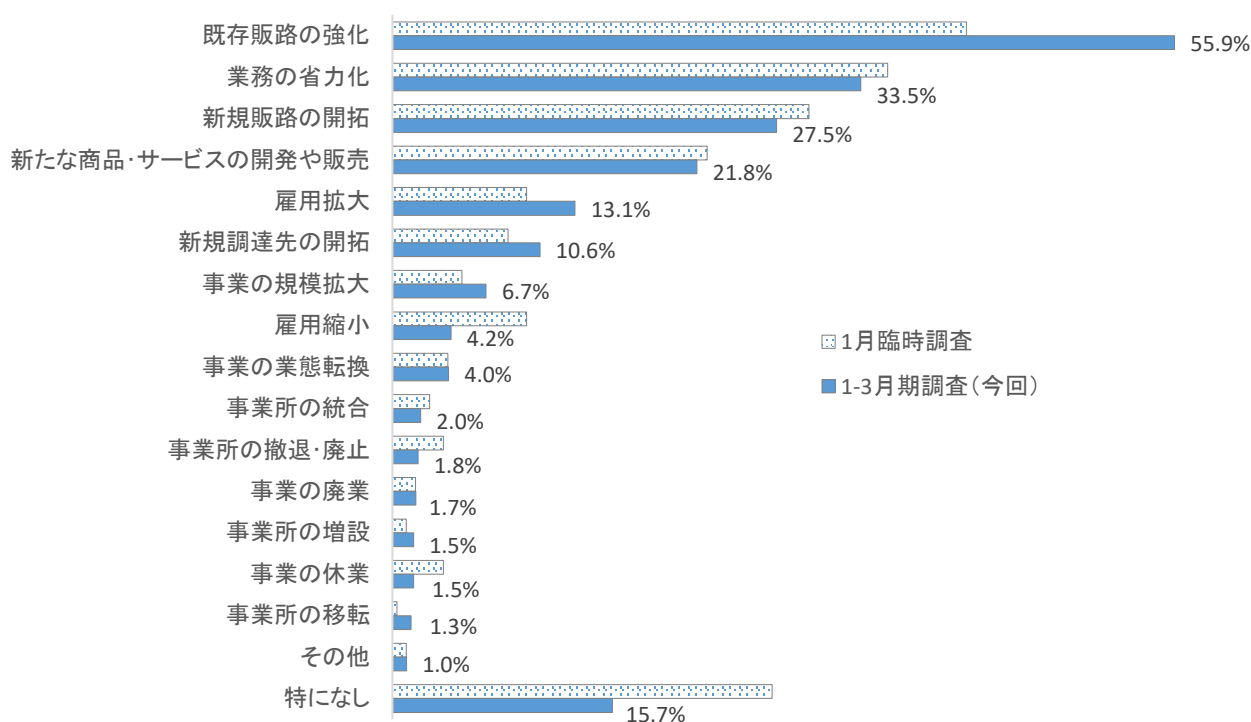
（６） 感染症による影響に関し、行政（国、道等）に期待すること

- ・最も多かった回答は「支援金・給付金・助成金の継続・拡充」の 57.1%で、次いで「当面の需要喚起」が 42.0%、「感染状況に関する情報発信」が 38.7%となっている。（複数回答）



（７） 今後の事業展開

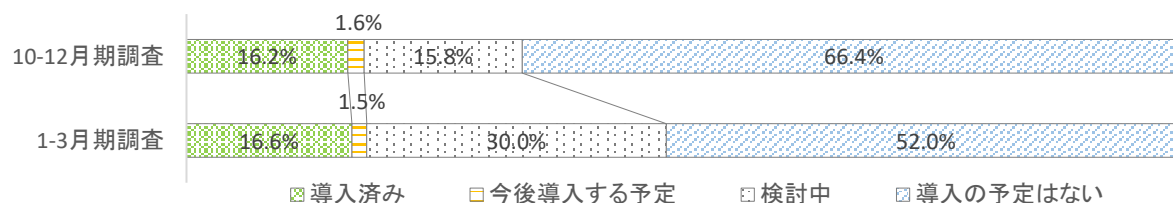
- ・最も多かった回答は「既存販路の強化」の 55.9%で、次いで「業務の省力化」が 33.5%、「新規販路の開拓」が 27.5%となっている。（複数回答）



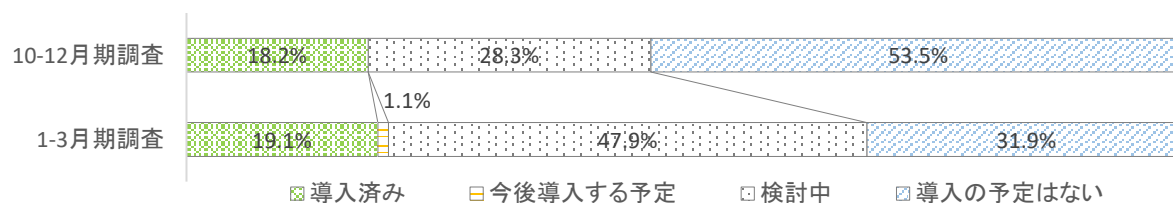
(8) テレワークの導入状況

- ・全体では、「導入済み」が16.6%、「今後導入予定」が1.5%、「検討中」が30.0%となっている。
業種別では、「導入済み」がサービス業で22.2%と最も高く、次いで建設業が19.1%、卸売・小売業が19.0%となっている。
- ・なお、10-12月期調査との比較では、「導入済み」は微増にとどまっているものの、「検討中」は大きく増加し、30.0%と倍増している。

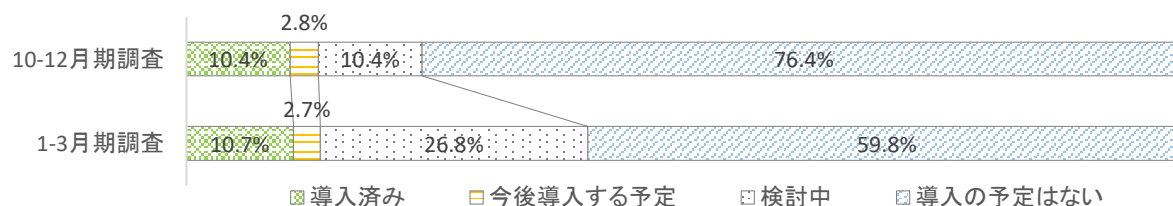
全 体



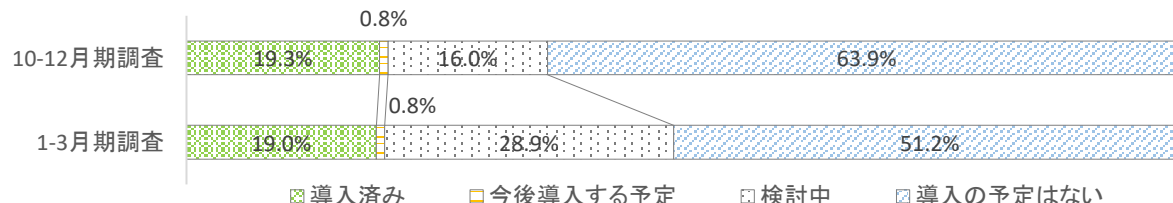
建 設 業



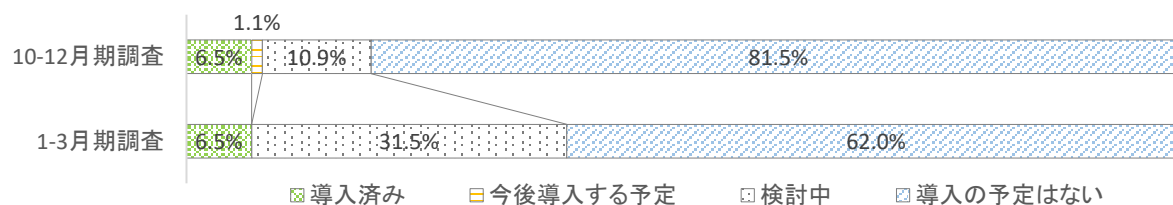
製 造 業



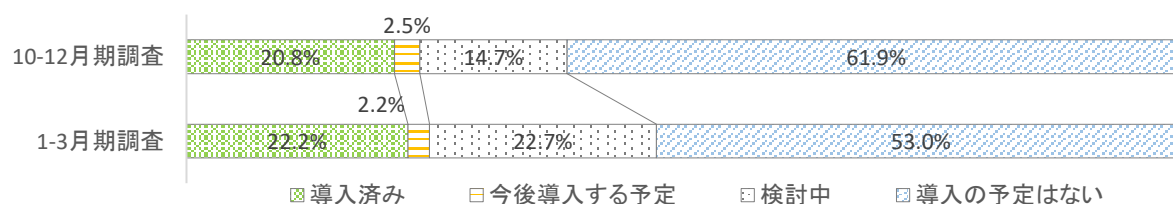
卸売・小売業



運 輸 業

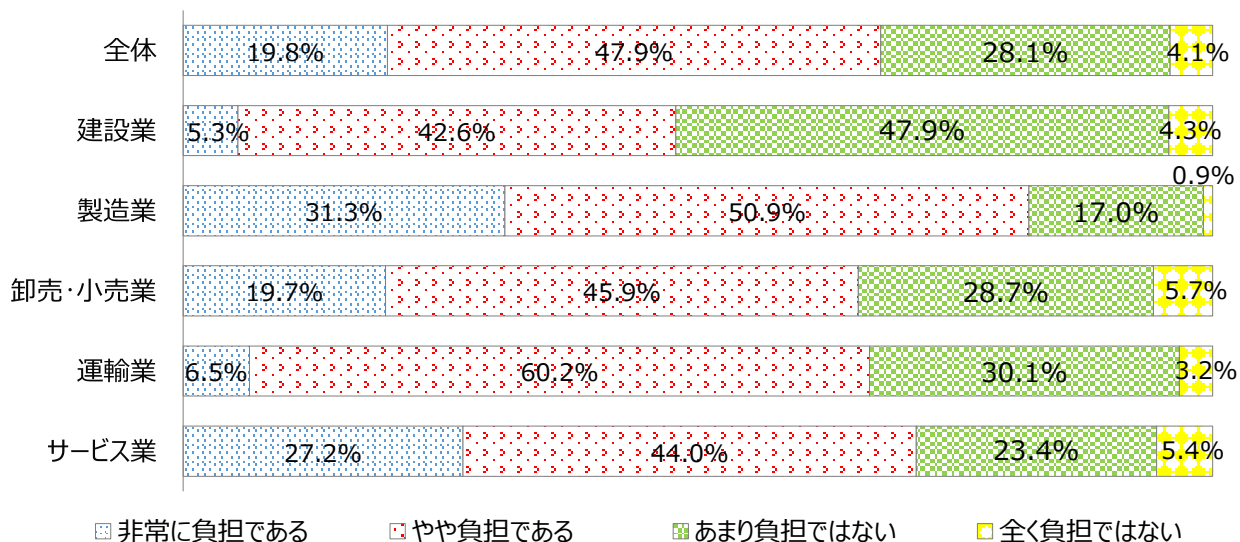


サービス業



2 電気料金についての負担感

- ・最も多かった回答は、「やや負担である」の47.9%で、次いで「あまり負担ではない」が28.1%、「非常に負担である」が19.8%、「全く負担ではない」が4.1%となっている。
- ・業種別では、「非常に負担である」と回答した企業の割合は、製造業で31.3%と最も高く、次いでサービス業が27.2%、卸売・小売業が19.7%となっている。



4 調査方法

1 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2 調査時点

令和3年3月31日

3 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4 調査対象及び回答企業数

区 分		調 査 対 象 企業数 (A)	回 答 企業数 (B)	回答率 (B/A・%)
総 計		900	616	68.4
	札幌市を除く	700	485	69.3
	札幌市	200	131	65.5
業 種	建設業	125	94	75.2
	製造業	150	115	76.7
	卸売・小売業	189	124	65.6
	運輸業	131	93	71.0
	サービス業	305	190	62.3
資 本 金	5千万円未満	617	419	67.9
	5千万以上～1億円未満	157	114	72.6
	1億円以上	126	83	65.9
地 域	道南	109	81	74.3
	道央	382	263	68.8
	札幌市を除く	182	132	72.5
	札幌市	200	131	65.5
	道北	132	83	62.9
	オホーツク	89	62	69.7
	十勝	94	68	72.3
	釧路・根室	94	59	62.8

(注) [道南]・・・渡島総合振興局、檜山振興局
 [道央]・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
 [道北]・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
 [オホーツク]・・・オホーツク総合振興局
 [十勝]・・・十勝総合振興局
 [釧路・根室]・・・釧路総合振興局、根室振興局

5 B S I (Business Survey Index) 指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各B S I 指標を次により算出。

$$B S I = (\text{「上昇」とする企業の割合} (\%)) - (\text{「下降」とする企業の割合} (\%))$$

$$(-100 \leq B S I \leq 100)$$

【計算例（企業数：200社）】

業況感について、「上昇」とした企業20社、「横ばい」とした企業120社、「下降」とした企業60社の場合

$$\frac{20 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 - \frac{60 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感B S I はマイナス20 ※小数点以下の端数がある場合は四捨五入



企業経営者意識調査（第 129 回）

令和 3 年 4 月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
T E L 011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/bsi.htm>